

伊豆市男女共同参画に関する 市民意識調査報告書

平成 28 年 3 月

伊 豆 市

目 次

| | | |
|-----|----------------------------|----|
| I | 調査の概要 | 1 |
| II | 調査結果の概要 | 2 |
| | 0. 回答者属性 | 2 |
| | 1. 男女平等に関する意識について | 5 |
| | 2. 男女共同参画に関する教育・学習について | 6 |
| | 3. 政策方針決定過程へ女性の参画について | 7 |
| | 4. 家庭のことについて | 8 |
| | 5. 働き方・就業環境について | 9 |
| | 6. ワーク・ライフ・バランスについて | 12 |
| | 7. 地域について | 13 |
| | 8. 人権について | 15 |
| | 9. 男女共同参画社会実現に向けた取り組みについて | 17 |
| | 10. 各設問その他コメント | 18 |
| | 11. アンケート回答者のご意見・ご要望(自由記載) | 21 |
| III | 調査票 | 25 |

I 調査の概要

1. 調査の目的

男女共同社会の実現に向けての取り組みを進める過程において、市民の男女共同参画に対する意識や生活実態、ニーズを把握し『伊豆市男女共同参画プラン』見直しの基礎資料とするとともに、今後の施策に反映させていくことを目的とする。

2. 調査事項

- (1) 男女平等に関する意識について
- (2) 男女共同参画に関する教育・学習について
- (3) 政策方針決定過程へ女性の参画について
- (4) 家庭のことについて
- (5) 働き方・就業環境について
- (6) ワーク・ライフ・バランスについて
- (7) 地域について
- (8) 人権について
- (9) 男女共同参画社会実現に向けた取り組みについて

3. 調査対象

伊豆市在住の20歳以上の男女1,000人を無作為抽出

4. 調査期間

平成28年1月12日～1月25日

5. 調査方法

郵送による発送・回収

6. 回収状況

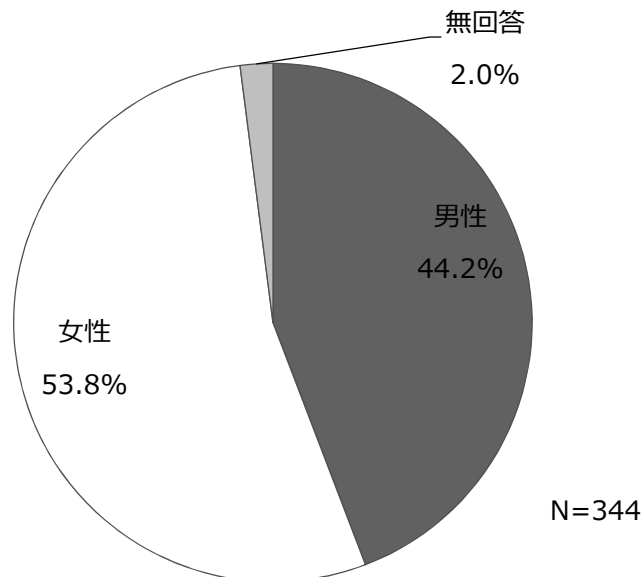
| 配布数 | 回収数 | 有効回収数 | 有効回収率 |
|--------|------|-------|-------|
| 1,000通 | 350通 | 344通 | 34.4% |

Ⅱ 調査結果

0. 回答者属性

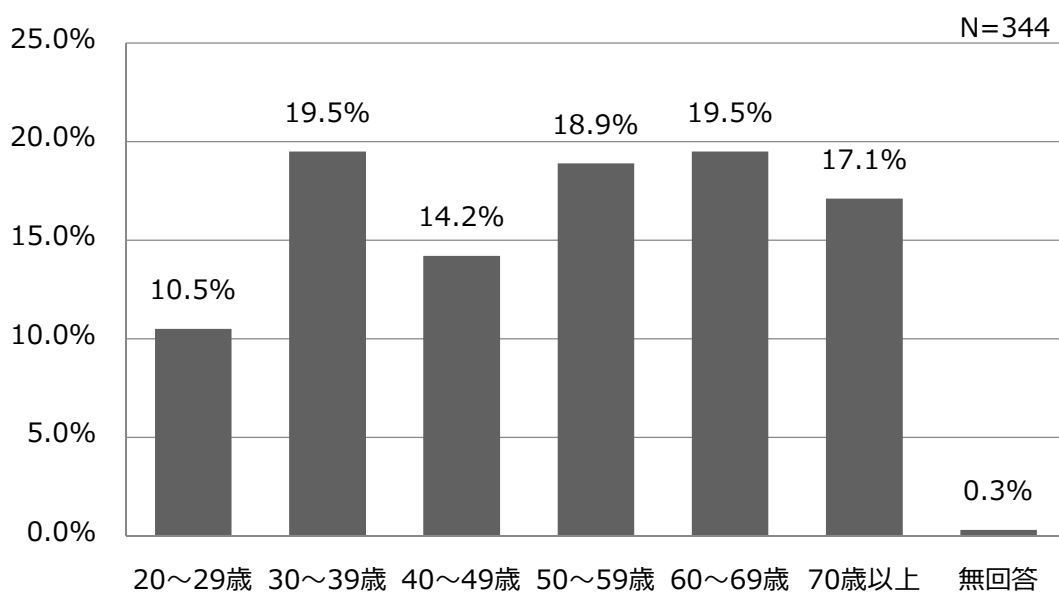
①性別

回答者 344 人中、「男性」の割合が 44.2%、「女性」の割合が 53.8%となっている。



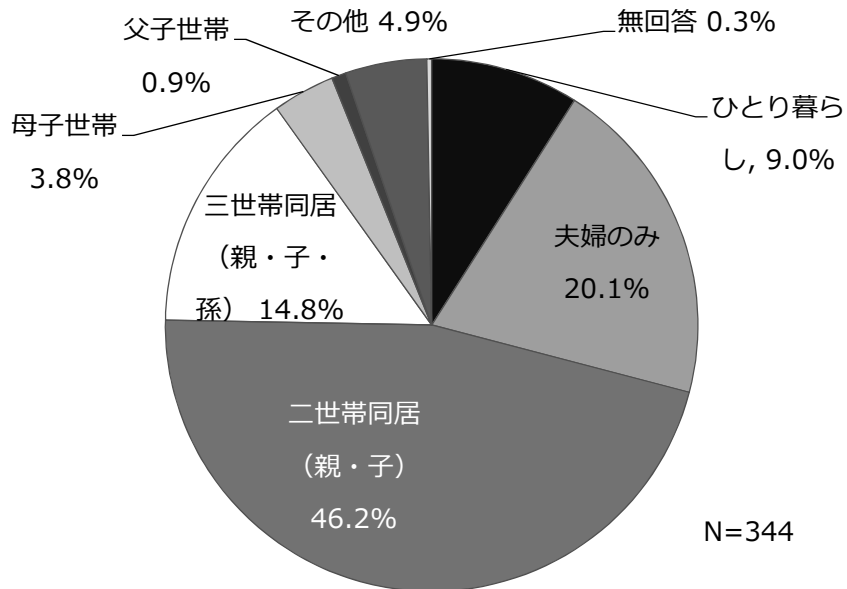
②年齢

「30 歳代」「60 歳代」の割合が 19.5%、「50 歳代」18.9%、「70 歳以上」17.1%、「40 歳代」14.2%、「20 歳代」10.5%の順となっている。



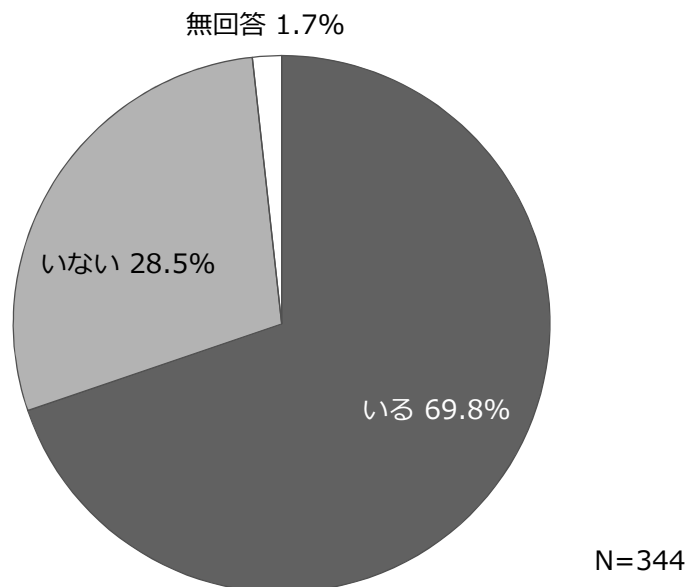
③ 家族構成

「二世帯同居（親・子）」が46.2%と半数近くを占め、次いで「夫婦のみ」が20.1%、「三世帯同居（親・子・孫）」が14.8%の順となっている。



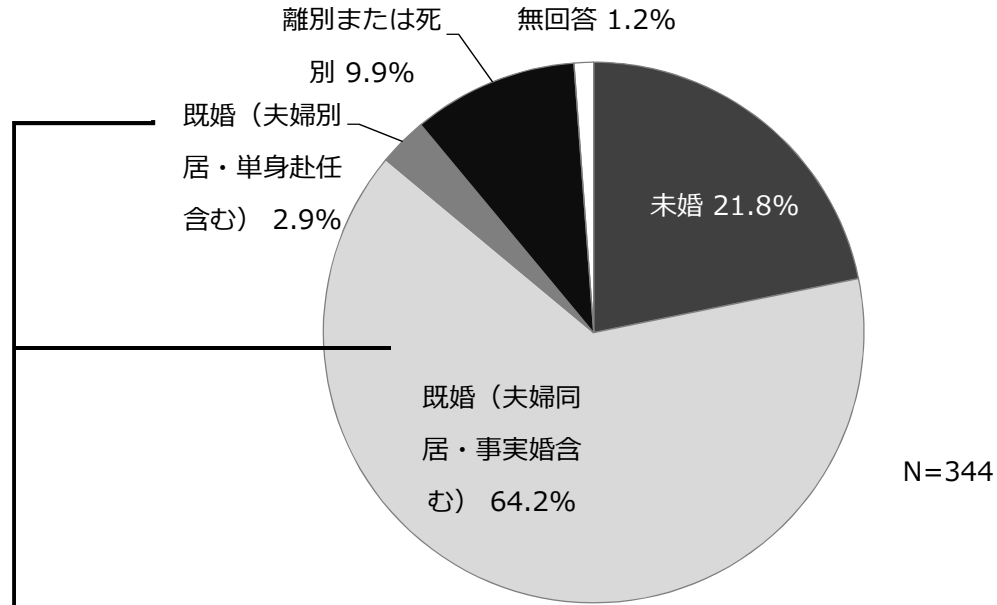
④ 子ども

「いる」の割合が69.8%で7割を占めている。



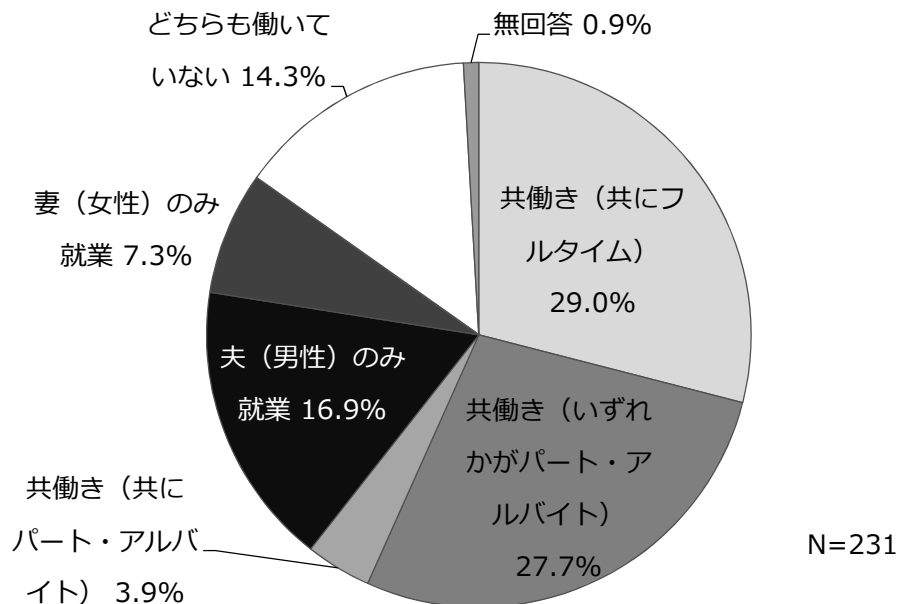
⑤結婚

「既婚（夫婦同居・事実婚含む）」の割合が 64.2%と最も高く、次いで「未婚」21.8%、「離別または死別」9.9%、「既婚（夫婦別居・単身赴任含む）」2.9%となっている。



⑥夫婦の働き方

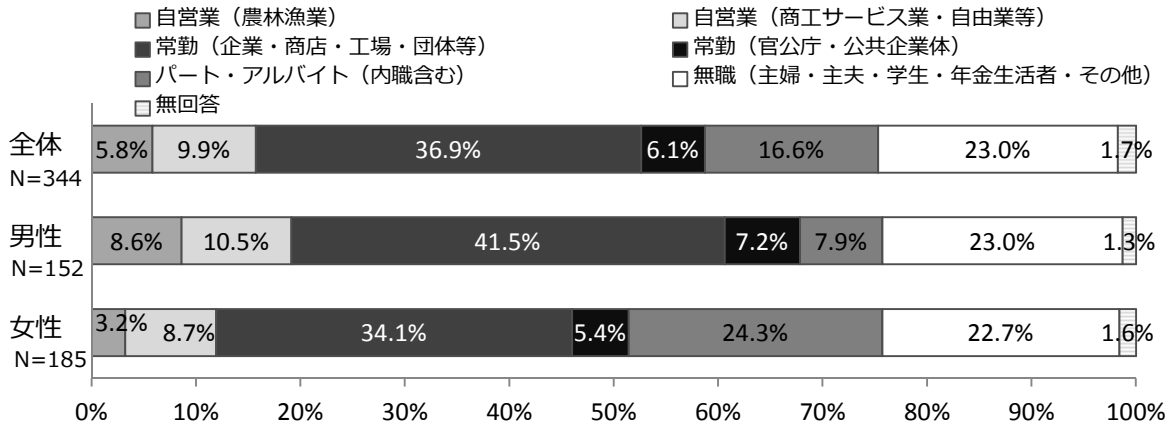
⑤で「既婚」とした夫婦の働き方をみると、「共働き（共にフルタイム）」が 29%と最も高く、次いで「共働き（いずれかがパート・アルバイト）」が 27.7%で、共働きの夫婦が 6 割、どちらか一方のみの就業が 2.5 割となっている。



⑦職業

全体では「常勤（企業・商店・工場・団体等）」が36.9%で最も多く、次いで「無職」が23.0%となっている。

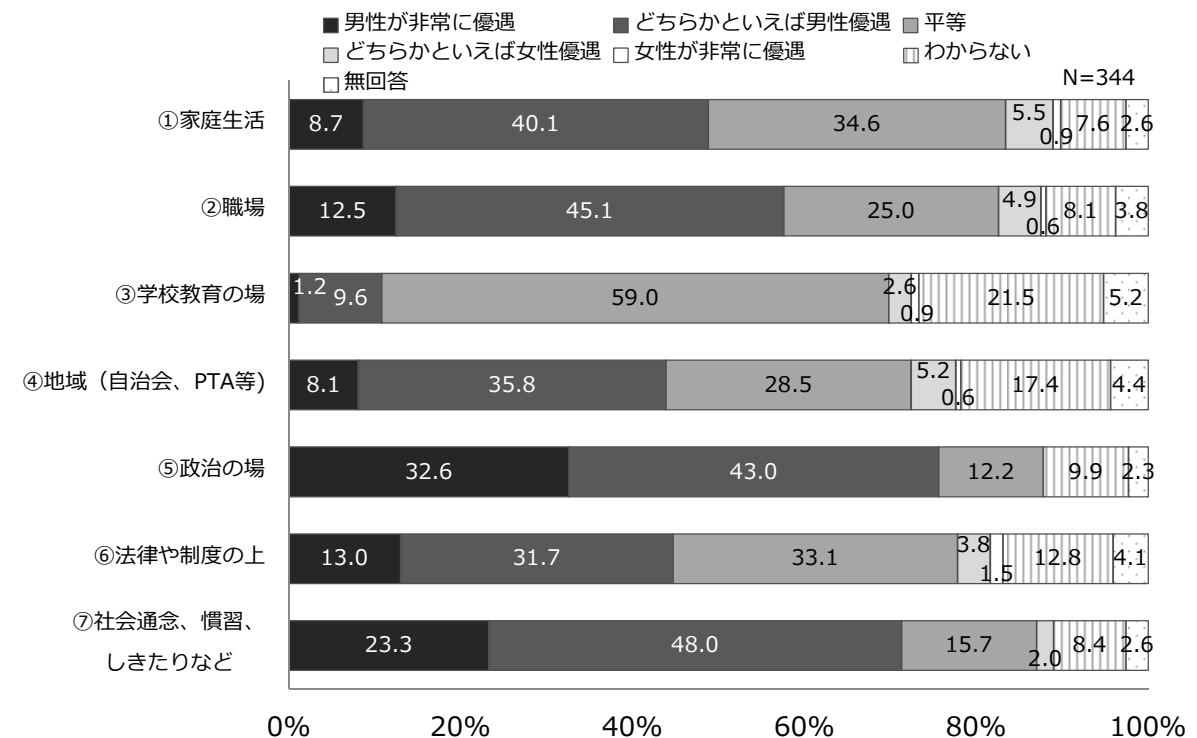
男女とも就業者は7.5割程となっているが、男性は「常勤」が48.7%で女性に比べ9.2%多く、女性は「パート・アルバイト」が24.3%で男性に比べ7.7%多い。



1. 男女平等に関する意識について

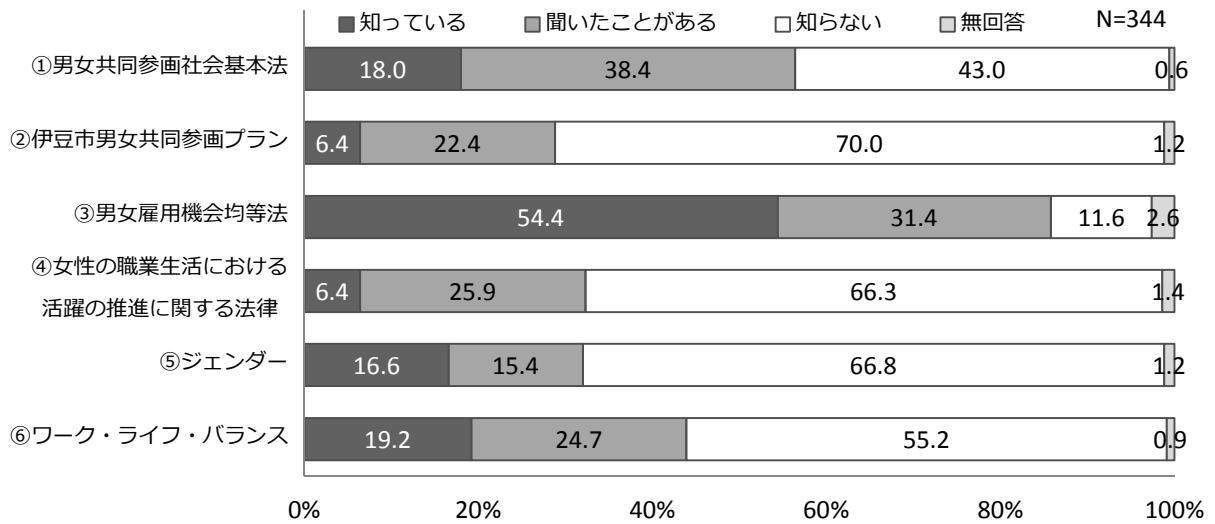
問1 あなたは、次のような分野で男女は平等になっているとお考えになりますか。（○はそれぞれ1つずつ）

最も「平等」の割合が高いのは「学校教育の場」で6割程を占めている。次いで「家庭生活」で34.6%、「法律や制度の上」で33.1%となっている。しかし、特に「政治の場」で「男性が非常に優遇」とする割合が32.6%と高く、「どちらかと言えば男性優遇」も含め「男性優遇」の割合が「政治の場」「社会通念、慣習、しきたりなど」では7割を超えており、次いで「家庭生活」「職場」で高くなっている。



問2 あなたは、次のことがらを知っていますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

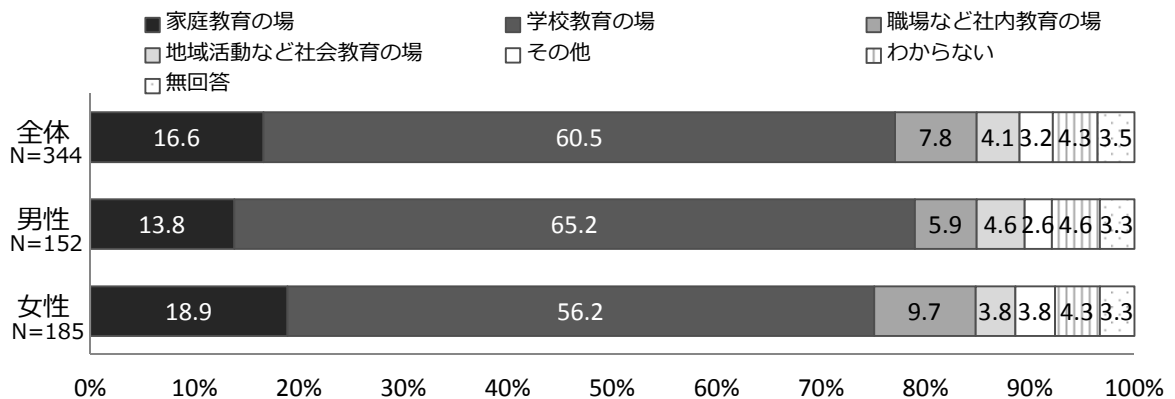
「男女雇用機会均等法」が54.4%で最も周知度が高いが、それ以外の周知度は2割に留まる。知らないと答えた割合は「伊豆市男女共同参画プラン」が70%で最も多く、男女共同参画社会形成の理解促進のために、周知を図っていく必要がある。



2. 男女共同参画に関する教育・学習について

問3 あなたは、人権の尊重、男女平等を推進する教育をどこで行うべきだとお考えになりますか。(〇は1つ)

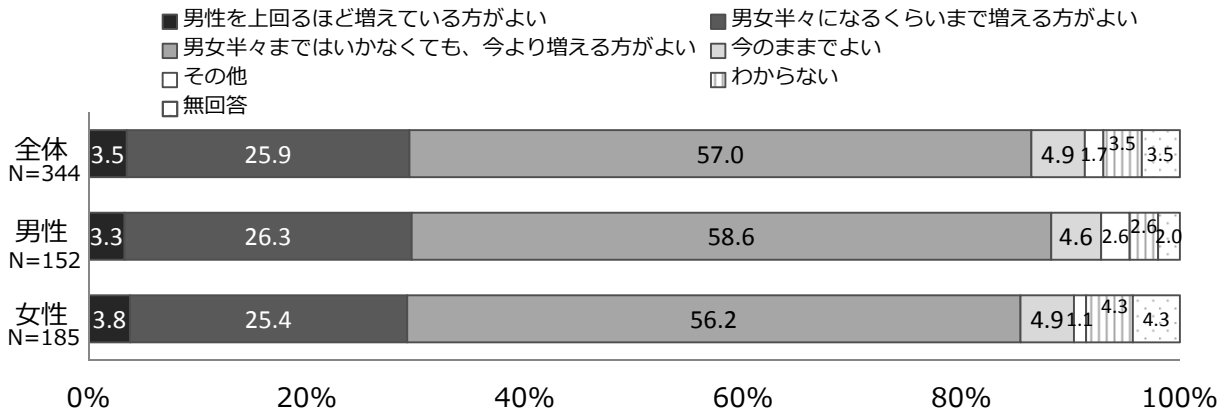
男女共同参画教育の場として「学校教育の場」が60.5%で最も多く、次いで家庭教育の場で16.6%となっている。性別でみた場合も同様の傾向であるが、「学校教育の場」と答えた割合は男性が女性を上回っており、「家庭教育の場」「社内教育の場」と答えた割合は女性が男性を上回っている。



3. 政策方針決定過程への女性の参画について

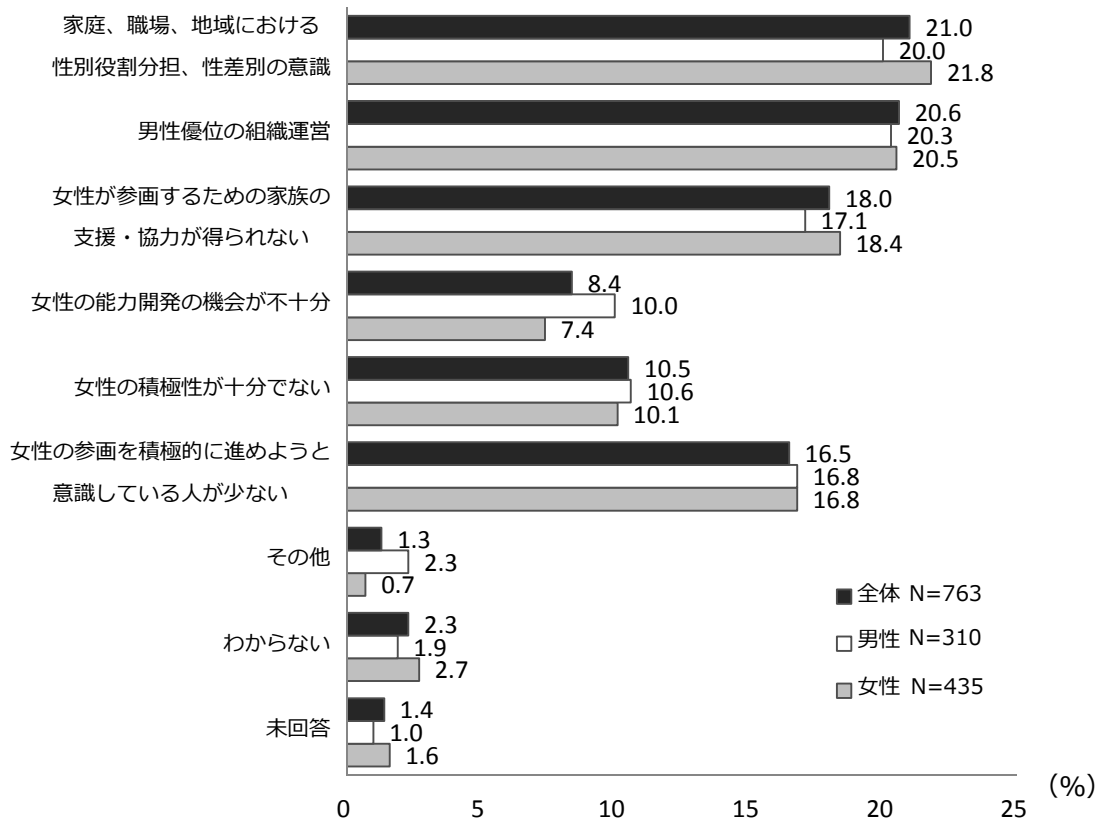
問4 あなたは、政策決定の場に女性が参画することについて、どのように考えますか。(〇は1つ)

女性の政策決定の場への参画は、増加を望む割合が86.4%と大半を占めている。内訳は「男女半々まではいかなくても、今より増える方がよい」が57%と過半数を超えている。性別も同様の傾向であるが、男性の方が女性よりも増加を望む割合が2.8%上回っている。



問5 政策の企画や方針決定の場に女性の参画が少ない理由は、何だとお考えになりますか。(〇はいくつでも)

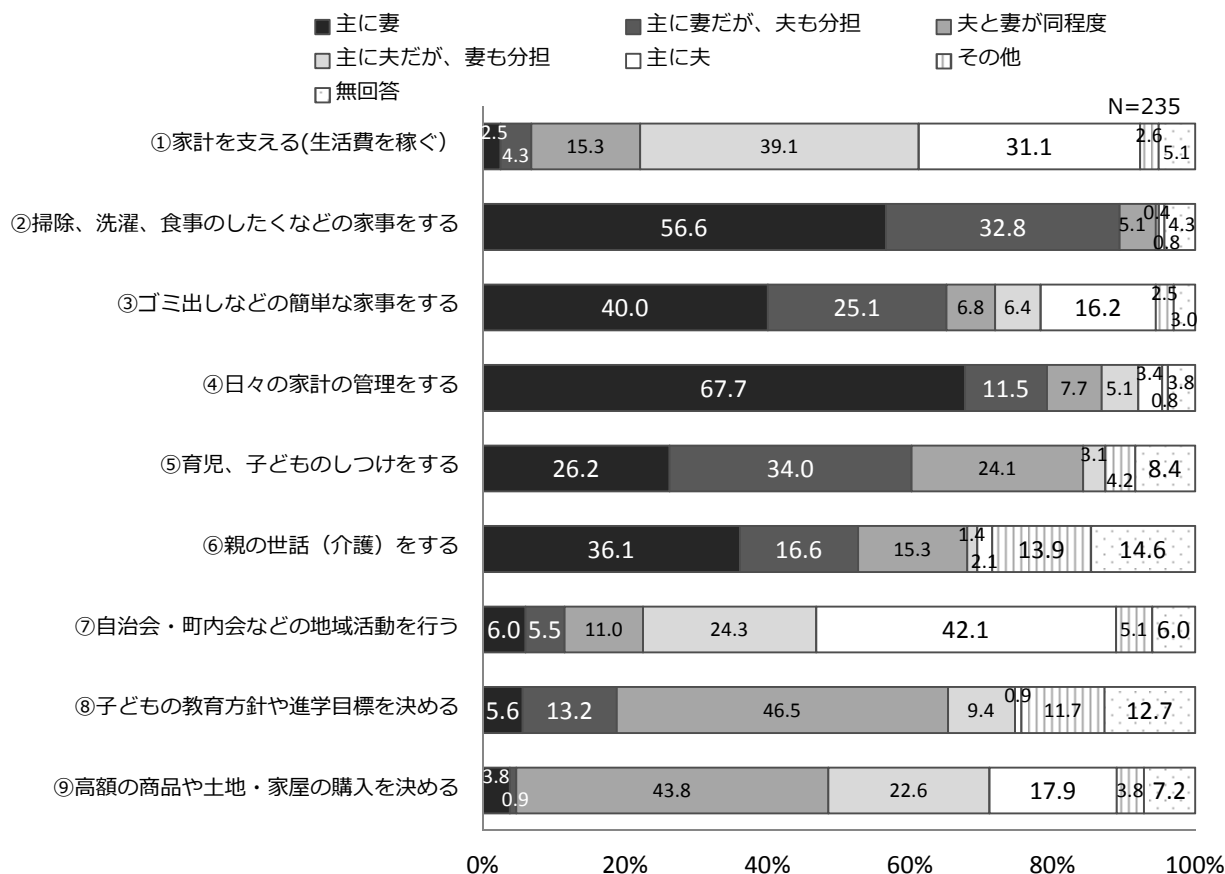
「家庭、職場、地域における性別役割分担、性差別意識」の割合が21%と最も高く、次いで「男性優位の組織運営」が20.6%、「女性が参画するための家族の協力が得られない」が18%となっている。性別も同様であるが、女性に比べ男性で「女性の能力開発の機会が不十分」「女性の積極性が十分でない」の割合が高くなっている。



4. 家庭のことについて

問6 現在、配偶者（事実婚を含む）のいらっしゃる方におたずねします。あなたのご家庭では、次のような家庭の役割を、主にどなたが担っていますか。（〇はそれぞれ1つずつ）

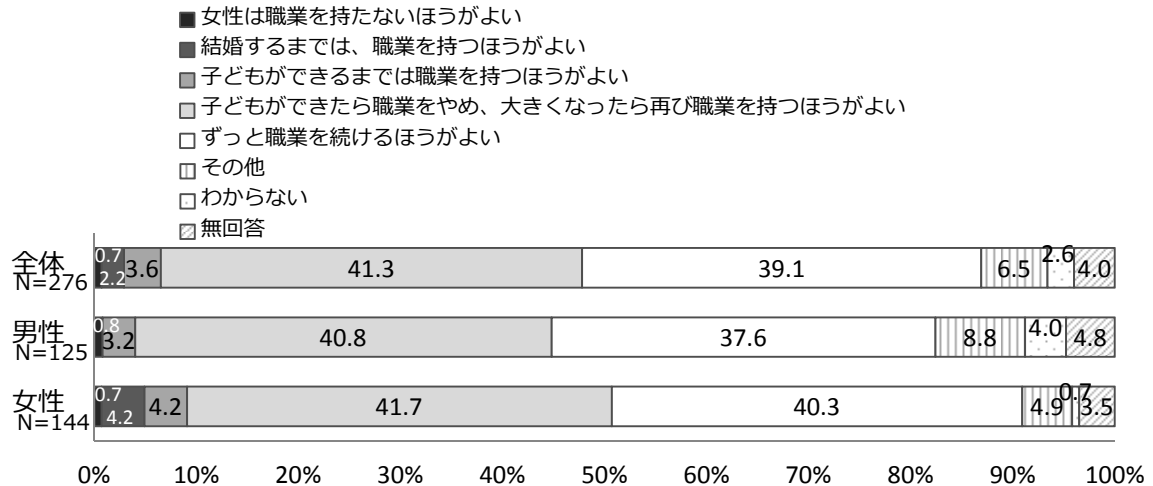
②「掃除、洗濯、食事のしたくなどの家事をする」「日々の家計の管理をする」は「主に妻だが夫も分担」も併せると「主に妻」の割合が7割を超えており、「ゴミ出しなどの簡単な家事」「育児・子どものしつけ」「親の世話（介護）をする」は5割を超えている。また、「家計を支える（生活費を稼ぐ）」「自治会・町内会などの地域活動を行う」は「主に夫だが妻も分担」も併せると「主に夫」の割合が7割程となっている。「子どもの教育方針や進学目標を決める」「高額の商品や土地・家屋の購入を決める」については「夫と妻が同程度」の割合が最も高く5割程となっている。



5. 働き方・就業環境について

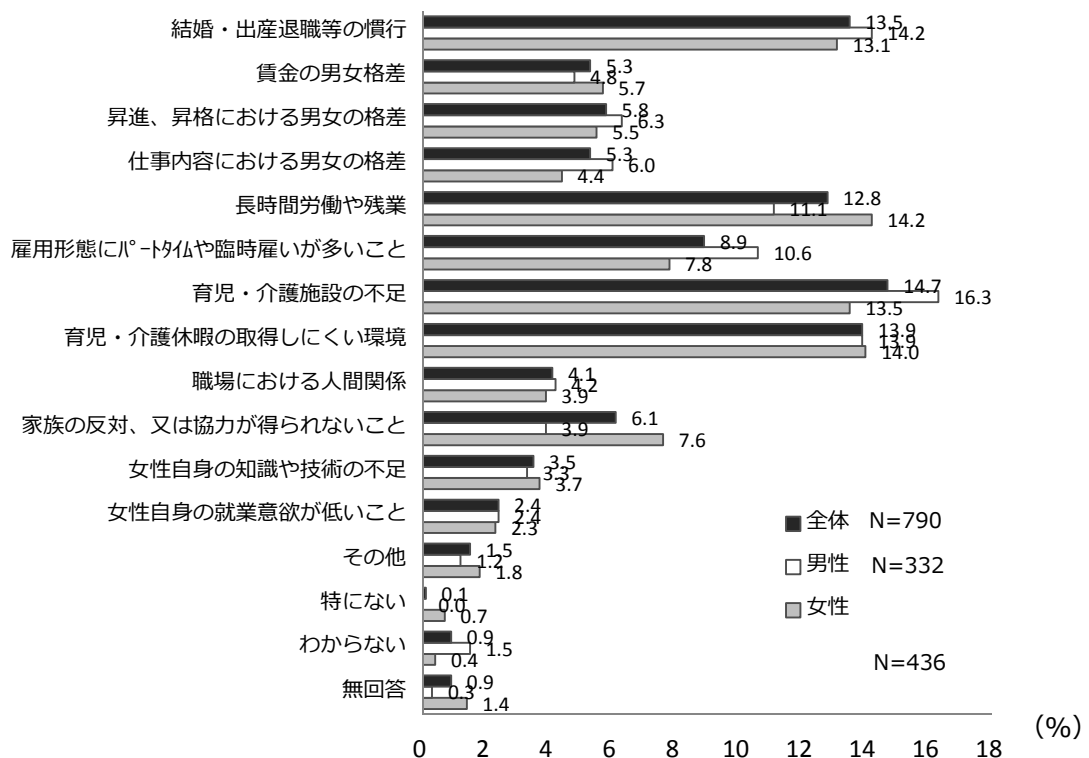
問7 一般的に女性が職業を持つことに対してあなたはどのようにお考えになりますか。(〇は1つ)

「子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業を持つほうがよい」の割合が41.3%で最も高く、次いで「ずっと職業を続けるほうがよい」が39.1%となっている。性別でも大きな差異はみられない。



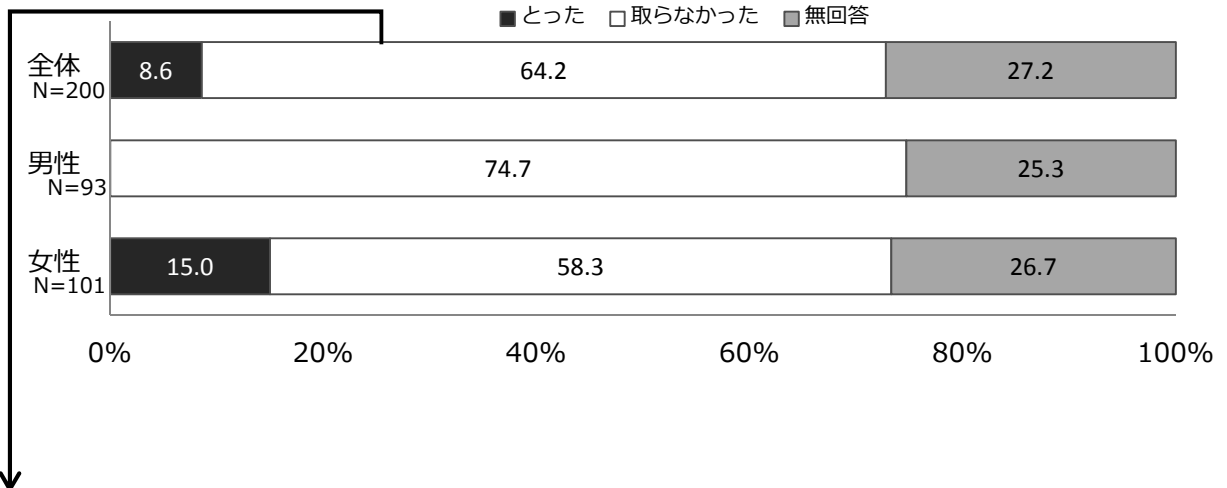
問8 問7で2～5を選択した方に伺います。女性が働く上での障害は何だとお考えになりますか。(〇はいくつでも)

「育児・介護施設の不足」の割合が14.7%と最も高く、次いで「育児・介護休暇の取得しにくい環境」が13.9%、「結婚・出産退職等の慣行」が13.5%、「長時間労働や残業」が12.8%となっている。性別にみると、女性は「長時間労働や残業」の割合が最も高く、次いで「育児・介護施設の不足」「育児・介護休暇の取得しにくい環境」となっている。



問9 子どもがいる方にお聞きします。あなたは育児休暇を取りましたか。
(○は1つ)

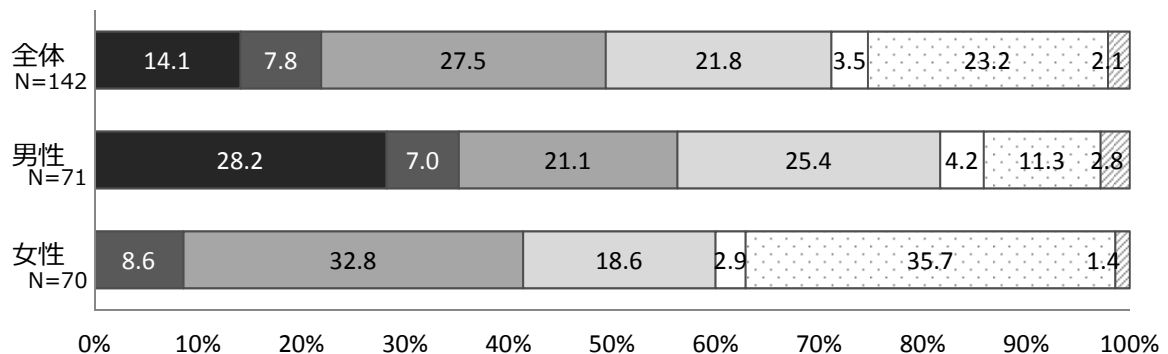
「とった」割合は8.6%で、性別で見ると男性の取得率は0%となっている。



問9-2 取らなかった理由は何ですか。(○は1つ)

「取らなかった」理由は、「勤務先では育児休業の制度がなかったから」の割合が27.5%で最も高く、次いで「必要がなかったから（親にみてもらうなど）」が21.8%で、「復帰後、昇給（昇格）への不安や、仕事についていけないなどの不安があったから」は0%となっている。性別で見ると、女性は「その他」（結婚を機に離職した、自営のため、パート等だったためなど：P19参照）を除くと「勤務先では育児休業の制度がなかったから」が最も高く、男性は「配偶者（パートナー）が取ったから」が最も高い。

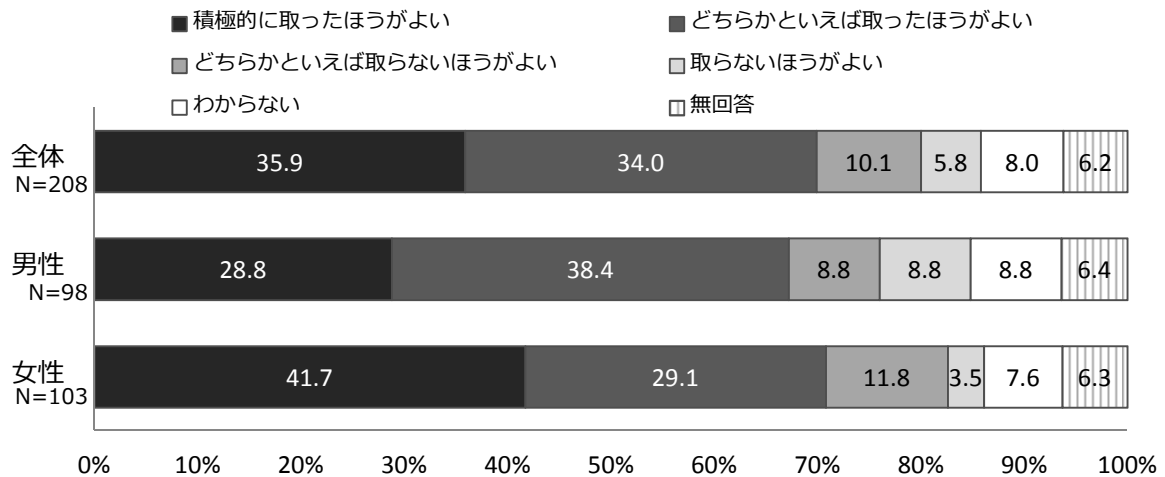
- 配偶者（パートナー）が取ったから
- 休暇が取りにくい職場の雰囲気だったから
- 勤務先では育児休業の制度がなかったから
- 必要がなかったから（親にみてもらうなど）
- 休業すると、その間収入が減るから
- 復帰後、昇給（昇格）への不安や、仕事についていけないなどの不安があったから
- その他
- ▨ 無回答



問 10 男性が育児休暇や介護休暇を取ることに、あなたはどのようにお考えになりますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

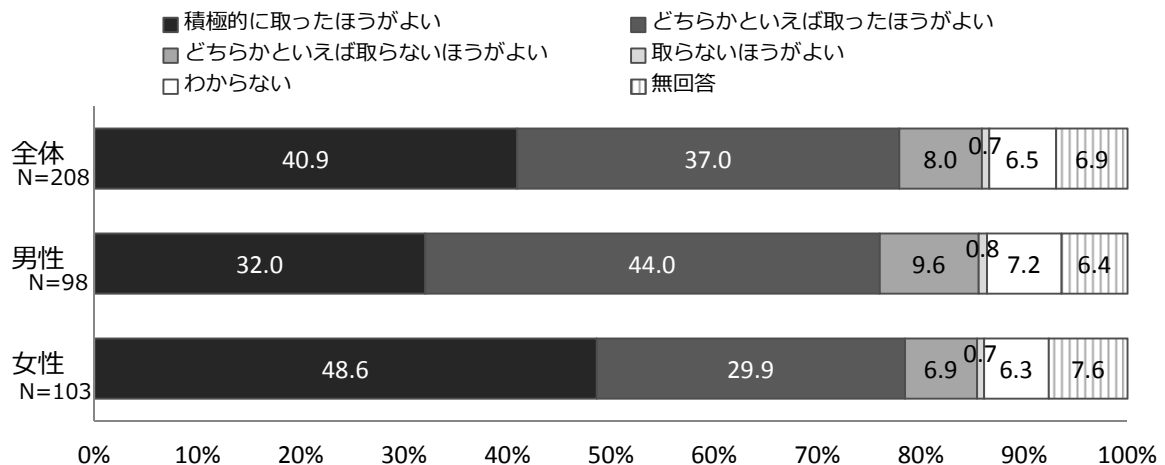
①育児休暇

男性の育児休暇について「積極的に取ったほうがよい」が35.9%で最も高く、「どちらかといえば取ったほうがよい」を併せると取ったほうがよい割合が7割となっている。性別では、男性は「どちらかというと取ったほうがよい」が最も高いが、女性は「積極的に取ったほうがよい」が最も高くなっている。



②介護休暇

男性の介護休暇について「積極的に取ったほうがよい」が40.9%で最も高く、「どちらかといえば取ったほうがよい」を併せると取ったほうがよい割合が8割近くとなっている。また育児休暇に比べ「取らないほうがよい」の割合が低くなっている。性別では、男性は「どちらかというと取ったほうがよい」が最も高いが、女性は「積極的に取ったほうがよい」が最も高くなっている。

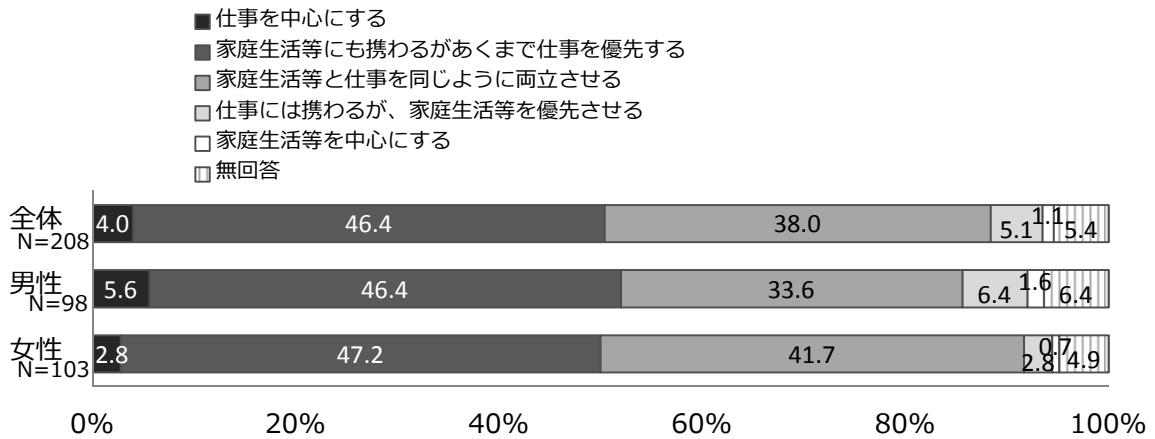


6. ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について

問 11 仕事と家庭生活等において、あなたが望ましいと思うのはどれですか。
また、あなた自身の実際の生活はいかがですか。（○はそれぞれ1つずつ）

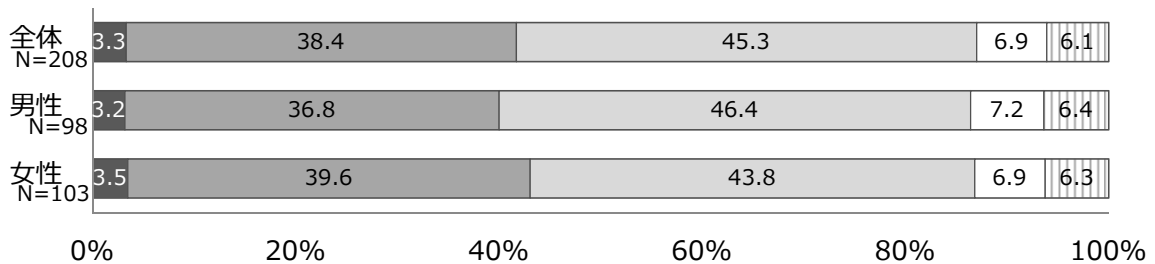
①望ましい男性のあり方

「家庭生活にも携わるがあくまで仕事を優先する」の割合が46.4%で最も高く、次いで「家庭生活等と仕事を同じように両立させる」が38%となっている。性別では、「仕事を中心にする」が男性に比べ女性の方が2.8%低く、「家庭と仕事を同じように両立させる」が男性に比べ女性の方が8.1%高くなっている。



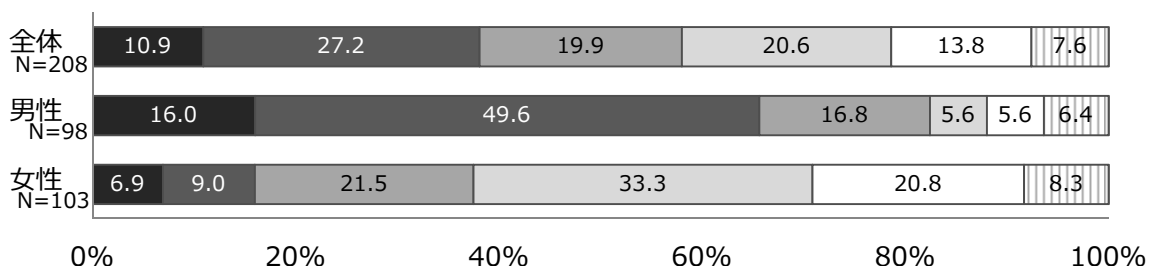
②望ましい女性のあり方

「仕事には携わるが家庭生活等を優先させる」の割合が45.3%で最も高く、次いで「家庭生活等と仕事を同じように両立させる」が38.4%であり、「仕事を中心にする」は0%となっている。性別でも大きな差異はみられない。



③あなたの実際の生活

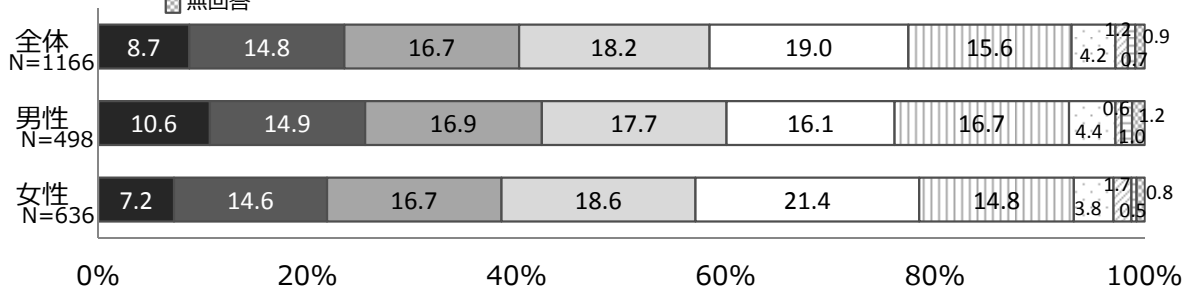
「家庭生活等にも携わるが仕事を優先させる」が27.2%で最も多い。性別では、男性は仕事を優先させる割合が6割強、女性は家庭生活等を優先させる割合が5割強となっている。



問 12 男女がともに仕事と家庭を両立していくためには、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

「家族や周囲の理解と協力」が19%で最も多く、次いで「育児・介護休暇の取りやすい環境の整備」が18.2%となっている。性別では、男性は「育児・介護休暇の取りやすい環境の整備」の割合が最も高く、女性は「家族や周囲の理解と協力」が最も高い。

- 就業労働時間の短縮
- 柔軟な勤務制度の導入
- 育児・介護施設の充実
- 育児・介護休暇の取りやすい環境の整備
- 家族や周囲の理解と協力
- 育児・介護休業中の経済的支援
- 仕事や家事・育児・介護のスキルアップ講座の参加や学習の機会
- その他
- わからない
- 無回答

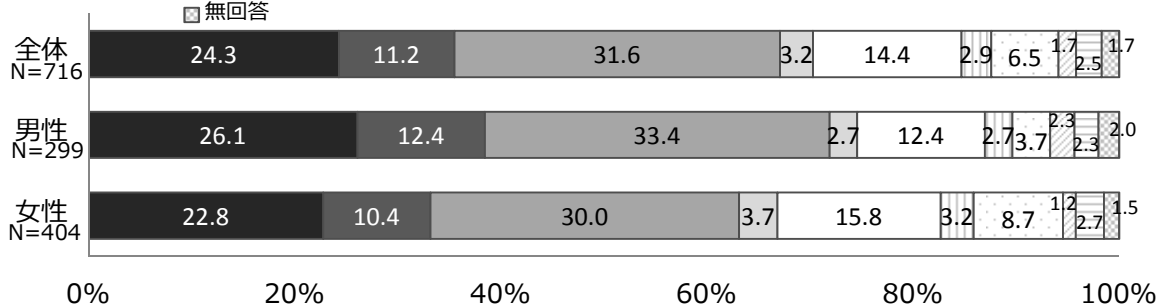


7. 地域について

問 13 あなたは、地域活動において女性が自治会の長などの役職につくことが少ない理由はなんでしょうか。(〇は3つまで)

「男性が主・女性が補助など性別によって役割を固定する考えや慣行があるから」が31.6%で最も高く、次いで「女性自身が役職に就くのに消極的だから」が24.3%となっている。性別では「活動時間帯が女性に合っていないから」を挙げた女性の割合が男性よりも高い。

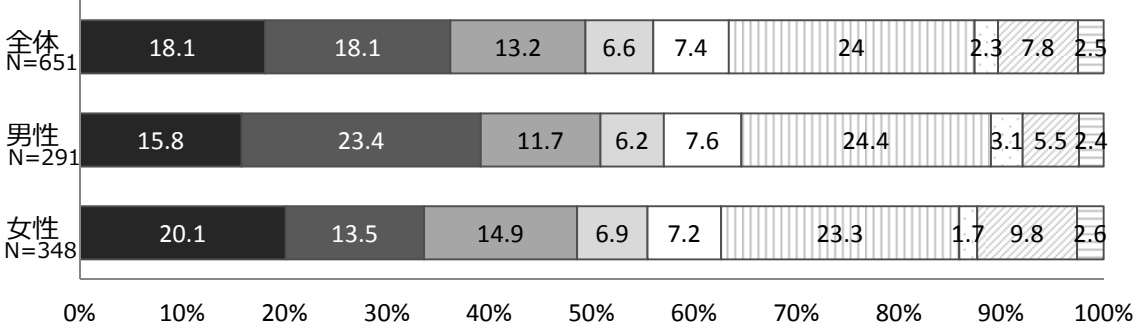
- 女性自身が役職につくのに消極的だから
- 家族の理解や協力が得られないから
- 男性が主・女性が補助など性別によって役割を固定する考えや慣行があるから
- 女性は身体的能力が男性より劣っているから
- 活動時間帯が女性に合っていないから
- 女性は指導的な資質に欠けるから
- 世間一般から快く思われないから
- その他
- わからない
- 無回答



問 14 地域活動や地域の方針決定の場へ男女がともに参加するために、どのようなことが効果的だと思いますか。(〇は3つまで)

「発言の機会の確保や意見が反映される組織づくり」が 24%で最も高く、次いで「地域で開催する男女共同参画についての意識啓発・研修」「自治会や自主防災会などの役員を男女両方が担う」となっている。性別では「地域で開催する男女共同参画についての意識啓発・研修」「役割を固定しない活動や訓練などの実施」と答えた割合が男性よりも女性の方が高く、「自治会や自主防災会などの役員を男女両方が担う」と答えた割合が女性よりも男性の方が高くなっている。

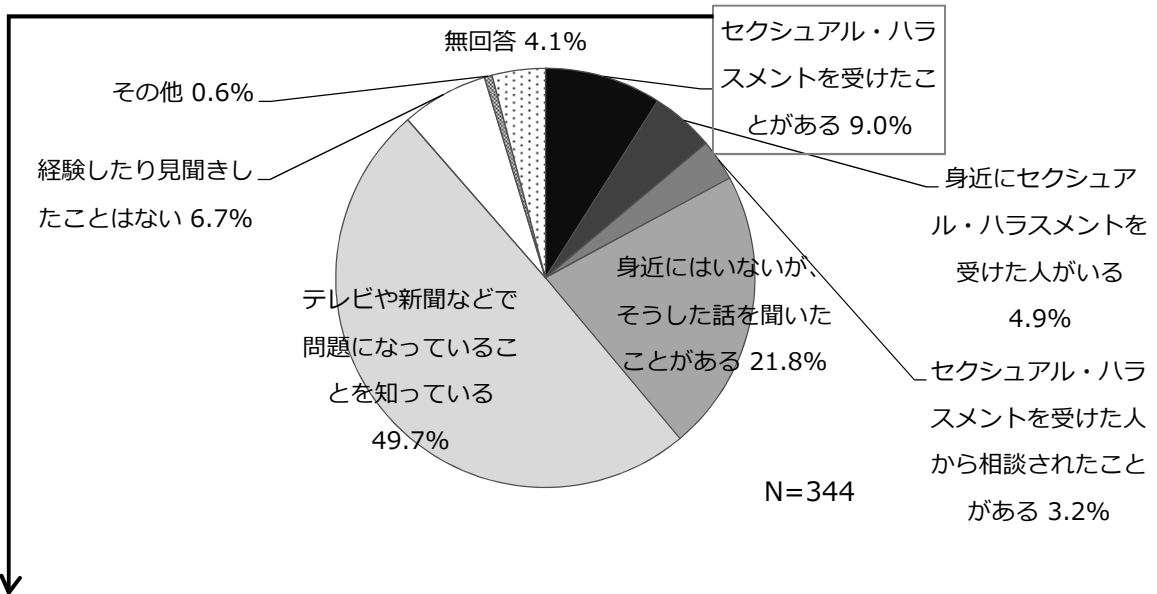
- 地域で開催する男女共同参画についての意識啓発・研修
- 自治会や自主防災会などの役員を男女両方が担う
- 役割を固定しない活動や訓練などの実施
- 男女共同参画を推進している地域についての広報や表彰
- リーダー養成や学習の機会の充実
- 発言の機会の確保や意見が反映される組織づくり
- その他
- わからない
- 無回答



8. 人権について

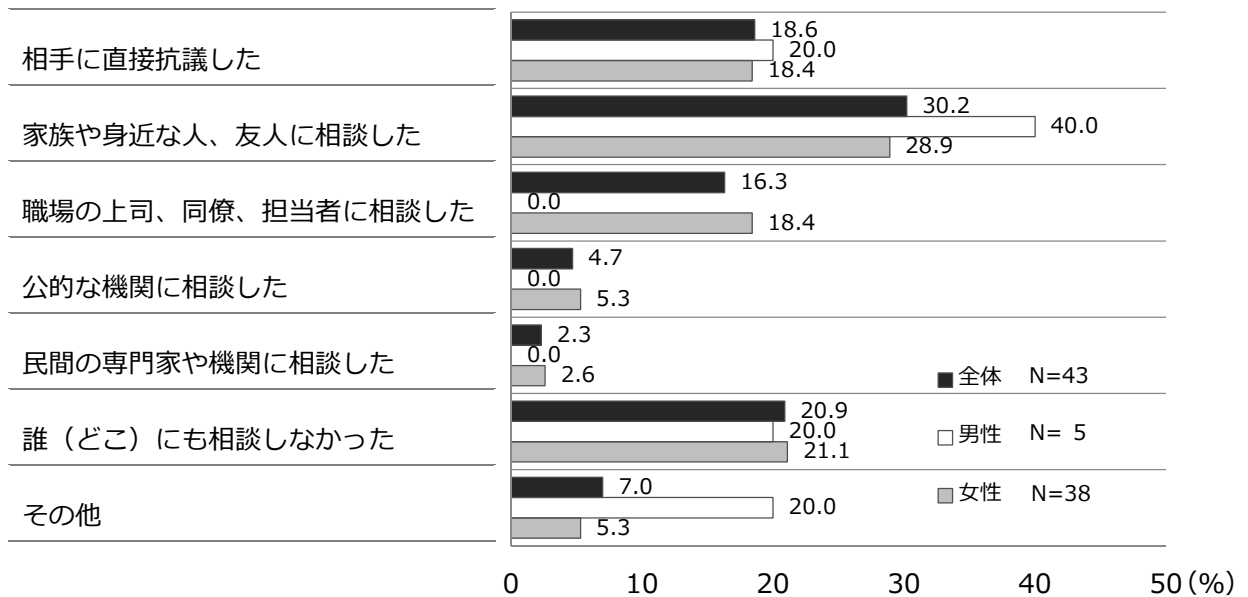
問 15 あなたはこれまでに、セクシュアル・ハラスメント（セクハラ・性的嫌がらせ）について経験したり見聞きしたことがありますか。（○は1つ）

「テレビや新聞などで問題になっていることを知っている」が 49.7%と最も高く、過半数を占めている。実際に「セクシュアル・ハラスメントを受けたことがある」割合は 9%で、内訳は女性が 8割を超える。



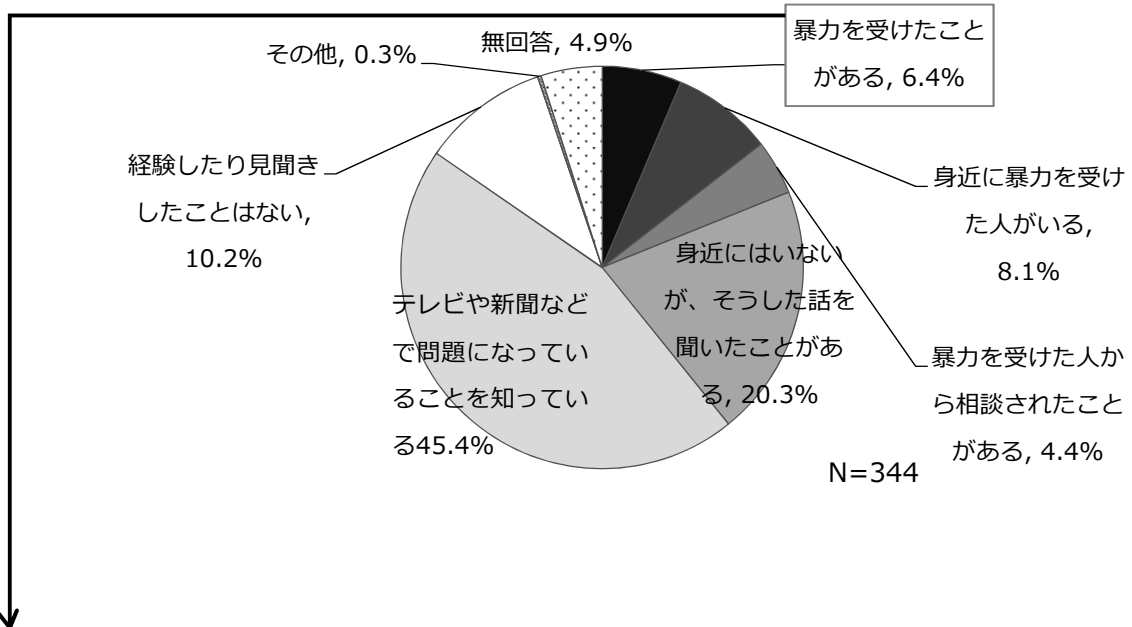
問 15-2 1と答えた方にお聞きします。セクシュアル・ハラスメントを受けたとき、あなたはどうしましたか。（○はいくつでも）

セクシュアル・ハラスメントを受けたことがある人の事後対応は、「家族や身近な人、友人に相談した」が 30.2%で最も多く、次いで「誰（どこ）にも相談しなかった」が 20.9%となっている。



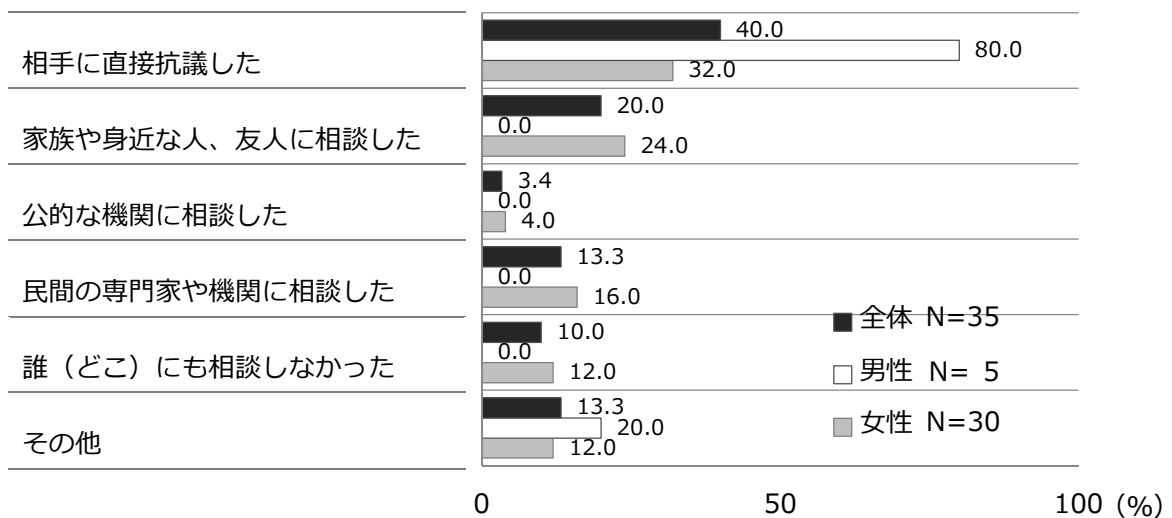
問 16 あなたはこれまでに、夫や妻・パートナーからの暴力(ドメスティック・バイオレンス)について、経験したり見聞きしたことがありますか。(○は1つ)

「テレビや新聞などで問題となっていることを知っている」が最も高く 45.4%と過半数を占めている。実際に「暴力を受けたことがある」の割合は 7%で、内訳は男性が 2 割、女性が 8 割となっている。



問 16-2 1と答えた方にお聞きします。暴力を受けたとき、あなたはどうしましたか。(○はいくつでも)

暴力を受けたことがある人の事後対応は、「直接抗議した」が 40%で最も多く、次いで家族や身近な人、友人、公的機関、民間の専門家などに「相談した」割合が 36.7%となっている。一方「誰（どこ）にも相談しなかった」割合は 10%である。性別にみると、女性は直接抗議した割合よりもしない（できない）割合の方が 24%多い。

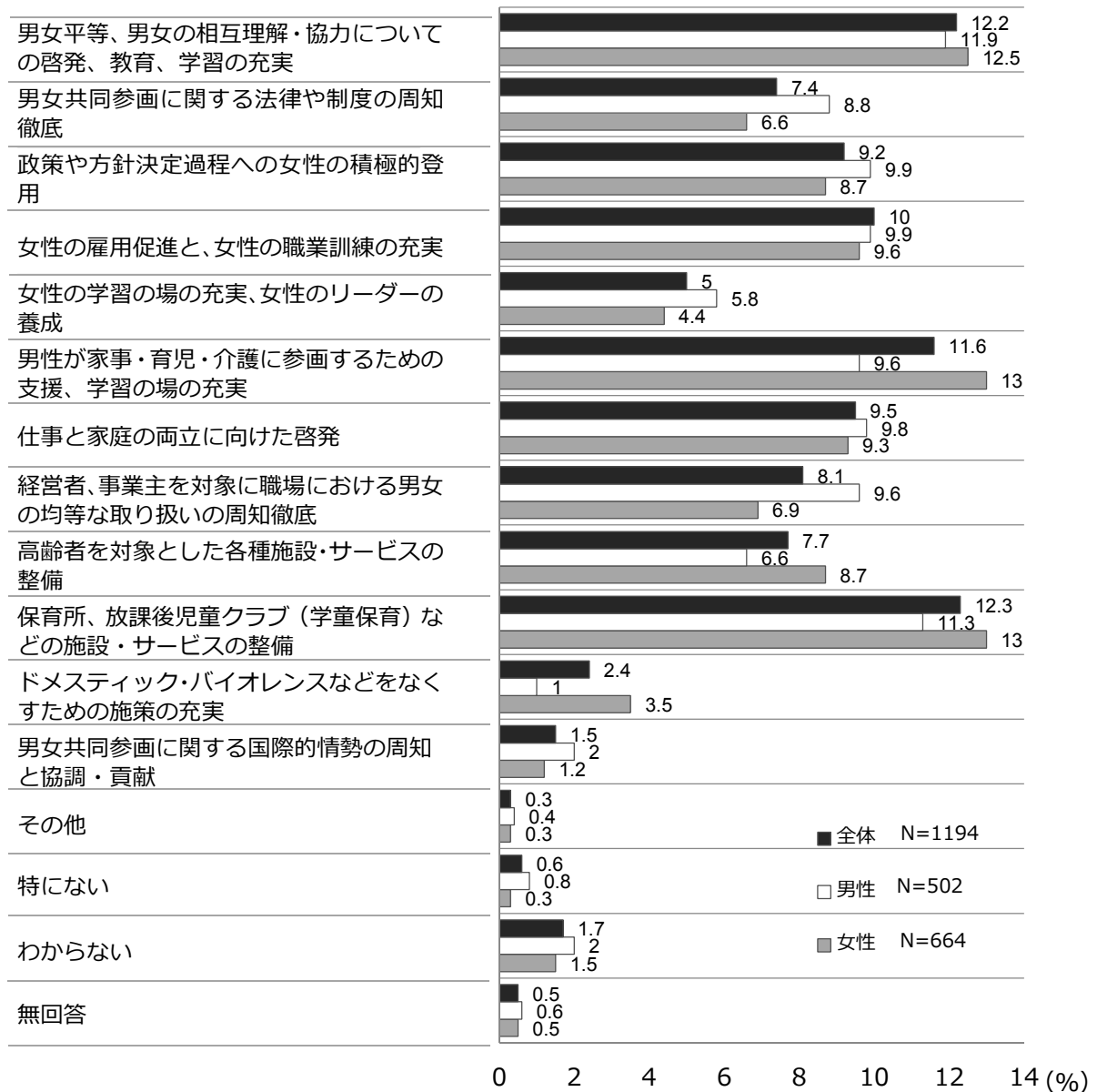


9. 男女共同参画社会実現に向けた取り組みについて

問 17 男女共同参画社会の実現のために、今後、行政はどのようなことに力を
入れていくべきだと思いますか。(○は5つまで)

「保育所、放課後児童クラブ（学童保育）などの施設・サービスの整備」が12.3%で最も高く、次いで「男女平等、男女の相互理解・協力についての啓発、教育、学習の充実」が12.2%、「男性が家事・育児・介護に参画するための支援、学習の場の充実」が11.6%となっている。

性別にみると、男性は「男女平等、男女の相互理解・協力についての啓発、教育、学習の充実」が最も多く、女性よりも「経営者、事業主を対象に職場における男女の均等な取扱いの周知徹底」と回答した割合が特に高い。女性は「男性が家事・育児・介護に参画するための支援、学習の場の充実」「保育所、放課後児童クラブ（学童保育）などの施設・サービスの整備」が同率で最も多く、男性よりも「男性が家事・育児・介護に参画するための支援、学習の場」と回答した割合が特に高い。



10. 各設問その他コメント

問3 あなたは、人の尊重、男女平等を推進する教育をどこで行うべきだとお考えになりますか。

| | | |
|-----|----|--|
| 30代 | 女性 | 学校教育だけではただの知識で終わってしまうので家庭の中でも必要だと思う 家庭と学校教育 教育というより国や政治で変えないと特に年配の方々の考え方は変わらないと思う。 |
| | 男性 | その物に対する教育ではなくそう仕向けるように教えるべき |
| 40代 | 女性 | 全部 家庭、学校、職場、地域すべて 家庭、学校教育、社会、それぞれに教育すべき1か所のみ教育は無理 |
| | 男性 | 1, 2, 3, 4全て |
| 50代 | 男性 | 色々制度を変えないとどことも言えない |
| 60代 | 女性 | 家庭でできたらベストだが、必ずしも家族が知識があるといえないので、補助的に学校が行うのがよい。 |

問4 あなたは、政治決定の場に女性が参画することについて、どのように考えますか。

| | | |
|-----|----|---------------------------------|
| 30代 | 女性 | 才能、実力のある人が男女関係なくやるべき |
| 40代 | 男性 | 能力による性別ではない |
| 50代 | 男性 | 流れの中で、増える増えないは、関係ないのでは |
| 60代 | 男性 | できるひとがすること無能ではだめ |
| 不明 | 女性 | 推進されているが個人的には政策に関しては男性が主でいいと思う。 |

問5 政策の企画や方針決定の場に女性の参画が少ない理由は、何だとお考えになりますか。

| | | |
|-----|----|---|
| 40代 | 女性 | 田舎だから考え方が古い |
| | 男性 | 各性別において、それぞれ固有の特徴があるから |
| | | そもそも今の女性は政策に魅力を感じていないのでは |
| | | 警察署 明治維新以降の西洋文化を参考にした影響がいまだにある |
| 50代 | 女性 | 女性がしっかりやる家庭の役割があるから |
| | 男性 | 人材を登用する側の能力、経験、自信不足 女性が参画するための法政が実現しにくい現実があると思う。 |
| 60代 | 男性 | 歴史的に形成されてきた意識 |

問7 一般的に女性が職業を持つことに対して、あなたはどうお考えになりますか。

| | | | | |
|-----|-----|---|---------------------------------|--|
| 20代 | 男性 | 続けたいという意味があるのならば続けた方がよい | | |
| 30代 | 女性 | 本当なら家事や育児などやることはたくさんなので主婦になるのが一番だと思いますが、家計的に女性も働かなければやっていけないのが現実だと思う。 子どもに手間がかかる間は職業の時間は減らし大きくなったら標準ぐらいにする やりたい事やらなければいけない事がある人は、男女など関係なく続けられる限り続けた方がいいと思います。 | | |
| | | 男性 | その人の家の環境にもよる 必要かどうか | |
| | 40代 | 女性 | 3, 4, 5は人によってちがうと思う。一般的には…選べない。 | |
| 男性 | | 本人の意向 本人の自由だと思う 個々で決めればよいと思います 女性の方が男性よりも一日当たりの仕事に従事できる時間が比較的短い | | |
| | | 50代 | 女性 | 負担の少ない就業がよい 職業区持つのが自然だと思うが、それは男でも女でも自分で判断決定すること 個人が続けたければ続けてもよいし、辞めたければ辞めてもよいが、一度は職業を持つ方がよい。 |
| | | | 男性 | ケースバイケース、このことを問うことが問題ではないか |
| 60代 | 男性 | その家族によって環境が違うので何ともいえない。しいていえば、4の考えです。 その〇〇の都合でいい 男性の終身雇用、結婚、家庭を築く、安定した収入。女性が安心して、子どもを産み育てられる環境。 | | |

問 8 女性が働く上での障害はなんだとお考えになりますか。

| | | |
|-----|----|---|
| 20代 | 女性 | 子どもが小さいうちはそばにいたい |
| 30代 | 女性 | 子どもに手がかかる幼い時期は一時で、過ぎてしまえば戻ることのない大切な時だ と思うので子育てを優先したい。 |
| | 男性 | 企業の対応 育児をきちんとやってから5歳以上になったら働いてほしい |
| 40代 | 女性 | 育児に専念し、子供のために使う時間も仕事以上に大切だと思うが、育児は収入に ならないので… |
| | | 3歳までは親が育てた方が子供のためにいいと思う 昔は女性は家内を守るのが自然であったでしょうから180度すべての人の意識が 変わることは容易ではないと思います |
| | 男性 | 時に乳児の時は男性よりも女性の方が〇育時に必要とすることが多いので働く時間 (機会)が減ってしまう。 |
| 50代 | 女性 | 本人の意識 |
| | 男性 | 上司の能力 |
| 60代 | 女性 | 育児と家事を充実させるには、働く事との両立は難しい |
| 70代 | 女性 | 子どもが小学校低学年までは、自分の手で育ててしつけ等をすべきだと思います。 |

問 9-2 あなたは育児休暇をとりましたか。

| | | |
|-----|---------------|--|
| 20代 | 男性 | 配偶者が専業主婦だったため |
| 30代 | 女性 | 結婚と同時期に退職したから。 |
| | | 自営のため |
| | | 仕事を辞めた |
| | | 細々とやっている自営業があるがフリーなので休暇はない |
| | | 退職していたから、パートのため |
| | | 連絡をくれればいつでも再就職できるよと言ってくれていた。 |
| | | パートで働いていて妊娠6ヵ月ぐらいで退職 スタッフが少なく早めに出てこれならば出てきてほしいと要望があったため |
| 40代 | 女性 | 出産から数年一時的に仕事を辞めていたから |
| | | パート、アルバイトだったから。 |
| | | 出産を機に退職したため |
| | | アルバイト扱いなのでない。とれるわけがない。 |
| | 一時的に退職していた。 | |
| | 男性 | 自営業であったから |
| 50代 | 女性 | 出産前に退職 |
| | | 退職したので |
| | | 結婚後に退職したので |
| | | 自営なので働かざるを得ない状況だった |
| | 結婚時退職 | |
| | 男性 | 職場を離れられる立場ではなかった 働きながら子どもをみることができた |
| 60代 | 女性 | 子どもが大きくなってから就業したから |
| | | 結婚で退職し、子育ては自分でした。 |
| | | 育児をしている時期は働いてはいませんでした。 |
| | | 退職した |
| | 自営だったので必要なかった | |
| | | 男性 |
| 70代 | 男性 | 自営のため |
| | | 自営 |
| | | 自営のため |
| 不明 | 女性 | 子育ては自分でしたい |

問 12 男女がともに仕事と家庭を両立していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。

| | | |
|-----|-----|--|
| 30代 | 女性 | 女性が正社員で勤められるように、学校卒業後正社員につけないでいるので現状、祝祭日に子どもを預けることができない。 観光地で祝日を含む連休等に見てもらえないと仕事ができない 短時間休暇の導入（例）2時間休暇、2時間早く帰るなど、子どもの病院や幼児など半日休まなくてもよい場合など |
| | 男性 | 男性も子供を産めるようになれたらいいと思う |
| 40代 | 女性 | 教育の場や地域活動への参加に対する職場理解。 男女の役割を無理に同じにしないこと、なんでも男女平等という考えをしないこと |
| | 男性 | 4時間ずつ日雇いワーク的カリキュラムと柔軟な保険適用（改正） |
| 50代 | 女性 | 就業に関する日本の考え方の見直し（残業をよしとしてしまうような） 本人のやる気力・心構え |
| | 70代 | 男性 |

問 13 地域活動において女性が自治会長の長などの役職につくことが少ない理由はなんだと思いますか。

| | | |
|-----|-----|--------------------------------|
| 20代 | 男性 | 育児等が多忙なため参加自体が難しい |
| 30代 | 男性 | 女性の方が忙しい 男性が主になりたがるから |
| | 40代 | 男性 |
| 50代 | 女性 | 時間的余裕がない、作れない 家庭での仕事や役割の大きさ |

問 14 地域活動や地域の方針決定の場へ男女がともに参加するために、どのようなことが効果的だと思いますか。

| | | | |
|-----|-----|---|----------------------------------|
| 20代 | 男性 | 1回のみで開催されている会議等を2回以上の複数回行うことにより、少しでも参加の機会を設ける | |
| 30代 | 女性 | 年齢制限。年寄が多すぎる 家族そろってや夫婦共に参加にし、誰かひとり参加すれば良いというかんじではなくなれば良いと思う。 役割を分けること（男女による向き不向きを考える） | |
| | 40代 | 女性 | それぞれ、得意不得意があるので無理に一緒にしなくてもよいと思う。 |
| | 男性 | 面白くて関心を〇〇のような会合（セミナー）を地元でも開催する 生活が裕福な人が率先して地域に貢献すること。男女は関係ない。 | |
| 50代 | 女性 | 本人の意識 | |
| | 男性 | 年よりの意識改革 | |
| 70代 | 女性 | 他の人はどうか分かりませんが、私は家の事に頭と手がいっぱいです。男性でも女性でも資質というものが、それぞれあるのではないのでしょうか。 | |

問 15 セクシャル・ハラスメント（セクハラ・性的嫌がらせ）について経験したり見聞きしたことがありますか。

| | | |
|-----|----|---------------|
| 50代 | 男性 | 部下がセクハラをしていた。 |
|-----|----|---------------|

問 15-2 セクシャル・ハラスメントを受けた時、あなたはどうしましたか。

| | | |
|-----|----|----------------------------|
| 30代 | 女性 | 女性なら多少なりともみな受けたことがあると思います。 |
| 50代 | 女性 | 逃げた |

問 16 夫や妻・パートナーからの暴力（ドメスティック・バイオレンス）について、経験したり見聞きしたことはありますか。

| | | |
|-----|----|------------------------------|
| 40代 | 女性 | 暴力ではないが、父親は母親に対して暴力的な言葉を使います |
|-----|----|------------------------------|

問 16-2 暴力を受けたとき、あなたはどうしましたか。

| | | |
|-----|----|-----------|
| 60代 | 女性 | 経験も身近にもない |
|-----|----|-----------|

問 17 男女共同参画社会実現のために、今後、行政はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。

| | | |
|-----|----|--|
| 30代 | 女性 | 男性をたてるのは日本人女性独特の事なので古き良き事だとは思いますが、中には出来る女性もいるので、時と場合で共同参画が実現できれば、理想だと思います。 |
| 40代 | 男性 | 建設業は女性の登用が遅れている。仕事というイメージがあるので安全性と設備的な〇〇を政策的に推進して欲しい。 |

11. アンケート回答者のご意見・ご要望(自由記載)

| | | |
|-----|----|---|
| 20代 | 女性 | 男女平等とか、男女共同参画とかそういう社会の実現のためにとって様々な取組や法整備を進めている話はニュースなどで聞いたことがあるが、そういう実感はあまり沸かないし、こうした取り組みを実際に行ったり法律を作る人があまり男女共同参画についての意識が低い気がして、せっかく取り組んでも実生活に結びつくのにはなかなか遠いように思う。 |
| 20代 | 女性 | 異性の働く時間が長いので、どうしても女性が台所に立つ時間が多くなるので、女性が色々な場に参加するのが難しくなっている所もあると思います。残業時間等を減らして男女とともに時間がとれるようになればいいなと思います。 |
| 20代 | 女性 | 昔よりは、女性の社会進出等進んできていると思いますが、まだ格差がいろいろなどころで見られます。女性の立場から考えると、育児・家庭と仕事の両立が難しいと思うので、女性の職場復帰をしやすい環境をつくること等雇用面の充実と家庭での役割の軽減のため、男性の育児等(家事も)の積極的な参加が、大事ではないかと思います。また、昔の日本の考えが根付いているので、男女平等の理解・周知も同時に必要だと強く思います。 |
| 20代 | 女性 | 子供が病気になっても看護してもらえる病児保育の施設を整備してほしい。 |
| 20代 | 女性 | 自分がそうなのですが、男女共同参画について、特に意識して考えたことがありませんでした。申し訳ありません…私のような人が結構多いのではないかと思います。 |
| 20代 | 男性 | 乳児・幼児の子どもがいても、保育園での受け入れが用意で女性(母)でも、働けるような環境づくりをしていくべきだと思う。保育所の整備等も… |
| 20代 | 男性 | 女性が働く上での就業意欲が欠けているというのは今までは欠けていても社会が許してきた結果の表れと考えます。約10年以内に定年を迎える主人の家庭はこのまま年金をもらいながら生活できるでしょう。しかし、現役の働き世代はそうはいきません。家庭に入って専業主婦を目指す夢見るとするのは、今の経済にとって壊さなければいけない概念であり、一億総活躍という言葉が生まれたのも女性が経済活動を継続しなければ賄えない段階に来ているのだと考えます。経済破綻が起こってから、痛みを実感してから意識が変わるのも決して悪いこととは思いませんが、悪あがきとして、法整備、就業意欲促進のための啓発活動は今から行って決して無駄ではないと思います。ただ、現状に危惧している人は既に何らかの行動をしていると思いますし、もし、実際に破綻が起こっても全ての人を救済するのは土台無理な話であり、危惧していなかった人は気づいてなかった事が罪だともいえると思います。 |
| 20代 | 男性 | どの県や市町村においても育児サービス等、まだまだ不足していることが問題であると考えます。サービスがなければ自動的に皆が各家庭のことで手一杯となり、参加の機会を余計に奪うことに繋がるだろう。また、財政の事を考えれば難しいかもしれないが、隣接する市町村やその他の地域よりもこういったサービスを行っていかなければ、利便性に欠ける伊豆市のような田舎町はどんどん人口が減ってしまうだろう。「あの町なら、育児・介護をしていくのにいいな」という意識を植え付けることが重要ではないだろうか。 |
| 30代 | 女性 | 今、私には生まれたばかりの赤ちゃんがいます。出産・育児のため仕事は辞めました。男女の身体的能力の違いから、女性が出産育児において仕事を一時辞めざるを得ないのは仕方ない事だと思います。しかし、その後の職場復帰が難しいのは残念です。フランスでは女性は産後すぐに職場復帰します。ベビーシッターが充実してたり、男性の育児休暇取得に企業や雇い主が反対すると罰則があったりします。国の経済支援や福祉も充実しています。そして、なにより、男性の「自分がやってもらおう」という考えが強いように感じました。そもそも、仕事中心の社会ではなく、家庭を大切にす国だからでしょうか。日本をもっと楽しく働ける社会であれば男女共同参画社会は実現すると思います。日本人働きすぎ!!そして、消費税は軽減しなくてもいいので、もっと社会福祉の充実を!! |
| 30代 | 女性 | 仕事については内容にもよるが男女が差別なく活動できる世の中になってほしいが、子供を産むことができるのは女性のみであり、何でもかんでも男女が同じように働いたり活躍するのは無理である。男は仕事、女は家庭という考え方を押し付けてはいけませんが、平等ばかり求めて辛くなるのは女性の方ではないかと思う。逆に女性が無理に仕事をしなくても暮らして出産、育児もできる環境やサービスも大切だと思う。 |
| 30代 | 女性 | 子育ては3年もすれば、こども園等に入園し、そこからはだいぶ楽になるとは思います。介護は先が見えず、離れて別々に生活していたり負担はとも大きいと思います。男性の協力が欠かせないと思います。晩婚が進み、高齢での出産になると介護と子育ての両立もでてくるのかと思います。女性だけが抱え込まない社会になったら素敵です。そうなるように願っています。 |
| 30代 | 女性 | 働きたくても働けない(保育園に入園できないなど)女性女性と言うなら、ちゃんと女性(家庭・子供をもつ主婦)の働きやすい環境を作りたい。両親もいない、知人もいない、保育園も入園できないでは、どうして働けばいいのか?働けなければ生活も出来ないのが現状。 |

| | | |
|-----|----|---|
| 30代 | 女性 | 家庭の事情を優先しても周囲が理解してくれる協力してくれる社会になると良い。日本人は勤勉でまじめで素晴らしいが犠牲にしていることも多く、余裕がたりないと感じる。 |
| 30代 | 女性 | 家事・育児・介護にしても女性がする物と一般的に考えられている。高齢者は特に…。家族からの指摘や協力がなければ女性は活動しにくい。 |
| 30代 | 女性 | 伊豆へ引越してきてから、毎月欠かさず広報伊豆を拝見しております。大阪から来たので、身近な市役所とかにも、女性が少ないのは感じております。広報伊豆で議員さんが写っている場所にも、やはり女性は少ないと感じます。伊豆は歴史があってとてもいいところだと思いますが、オリンピック、パラリンピックの自転車競技の開催も決定したので、男女共同参画も大切ですが、もっと若い人の力とそのために日々頑張っている私たち夫婦みたいな人たちが、もっともっと発言できる場所と方法を周知してほしいと思います。伊豆に来て本当にここは良いところだと思います。昔からここに居てはる、先人の方も大切だと思いますが、地方から居住してきた人たちにも、発言できる、そして、共存してもっと伊豆半島全体が盛り上がりいけばいいなと心から思います。男女共同参画よりも先の事を目指していかなければ、人口減少に歯止めは、かからないと思います。新しい風と新しい空気を取り入れる勇気をもって欲しいと思います。 |
| 30代 | 女性 | 女性が子供を産むのだから、仕事面である程度の差が出てしまうのは、仕方ないと思う。育休をとりやすくしたり、取ることに對して罪悪感を持たない社会にしたい。男女を平等にして欲しいというより、とにかく子育て支援を充実させてほしい。子育てしやすければ、子どもを持ちたい家庭も増えると思うし、子育てに対する不安やストレスが減れば家庭もうまくまわると思うので、男女が平等かどうか私にとって、正直どうでもよい。 |
| 30代 | 女性 | 男女共同参画という言葉自体を普段聞くことがない。という事は周知されていないのではないかと。アンケートに答えるまでもないというのが正直な感想。 |
| 30代 | 男性 | 女性の人が多く社会にでて仕事をし収入を得るようになれば地域から活性すると思います。そのために、市町村が保育（子ども）の面で支援が不可欠であり、高齢者の支援だけでは、市町村から若い世代がどんどんいなくなります。市の思い切った支援が望ましい。女性の働くシステムづくりが大事。人が集まる（人口が増える政策をしてください） |
| 30代 | 男性 | 男女共に働いていけるような環境、病院や学校、育児、介護施設などの経済的支援が少しでも充実してくれたらいいと思います。魅力ある町づくりをしていかないと、伊豆市から人が離れていっています。 |
| 30代 | 男性 | 男女が社会生活に共同参画できていないという考え方に疑問を感じる。 |
| 40代 | 女性 | 人権の尊重はもっともだと思いますが、私個人はどう考えても男性は男性にあった役割仕事。女性は女性にあった役割があるという考えです。男性には男性にしかできないこと、女性には向いているけれど、とても男性にはまねできないこと、男女は違います。私は平等ではなくて、当たり前だと感じます。風当りの強い表側に立つ男性を裏で女性が支えるのは普通のこととっております。生き物にとって、一番大切な出産という出来事を女性だけが担っている訳ですから、なぜ、なにかも同じにしようとするのか、わかりません。ただ、政治や地域の取り組みにおいて凸と凹の組み合わせが大切だと思います。 |
| 40代 | 女性 | 自分自身も職場においても家庭においても男性女性関係なく活躍されている平等という意識でいます。地域での活動までは、育児、仕事をしながらとなると余裕がないのが現実です。 |
| 40代 | 女性 | 私もそうですが、わざわざ大変な自治会長などをやる女性は少ないと思います。 |
| 40代 | 女性 | 自分を意識して、男性は社会に出て、社会から認められた地位を得やすく、そのことにより引退後、地域においての自治会の長はその職についての地位が顔代わりになるように思う。一方、女性は社会的地位を得にくい環境ではあるが、学校や地域の行事などへ参加する機会も多く子育てなどを通して、一般的な社会情勢をより地域に密着した形で理解しえるように思う。なので、男性の見方・意見の双方を取り入れることで、多様なものの見方、考え方ができ、より一層、地域についての発展がみられるのではないかと思います。 |
| 40代 | 女性 | 男性の得意分野と女性のそれとは違うと思うし、上に立つことがさほど重要とは思えない。知識や体験は平等にある方が良いと思うが、子どもの事を考えると、今の“女性も全て働くべき”という考え方はどうかと思う。同じ働き方をしても低賃金しかもらえなかったり仕事に行けば仕事中心にならざるを得ない現実がある。家庭中心に（子供の事を考えて）しなければいけないという時期がある事をもっと重要に考えてほしいと思う。男女関係なくリーダーはやりたい人がやればいいと思う。 |
| 40代 | 女性 | 男女平等といわれていますがセクシャルハラスメントやマタニティハラスメントが職場でもあったり、ドメスティックバイオレンスが絶えなかったり、その一方で独身の男性や女性が高齢の両親あるいは父親、母親を介護するために1人ですべてを抱え込んで離職して結果、経済的困窮に追い込まれるという悲劇もあります。そういった方が孤立しない社会づくりをしていただきたいと日々願っています。 |

| | | |
|-----|----|--|
| 40代 | 女性 | 子供が安心して親の帰りを待てる、環境をまず、作らないと大人が仕事することばかり、調査しても仕方ない。 |
| 40代 | 女性 | 子供のうちから教えられる環境を整えることが基だと思います。自覚できる大人が育てば、次世代につながるのではないのでしょうか？（何事にも通じることですが…） |
| 40代 | 男性 | 「男女共同参画」という政策は良いことと考えます。私個人の考えとしてそれぞれの性別において、特徴があるので、その特徴を生かして上での「平等」を考えるべきと考えます。 |
| 40代 | 男性 | 自分が10代の頃は、家庭内暴力より、学校の先生の方が暴力的で納得しなかった。父母に相談したこともあるが、あまり取り合ってくれなかった。警察に電話して聞いてみた事もあるが（私立の高校だから…）と言われただけだったと思う。団塊の世代という理由で政治的に肩身の狭い思いをするようなことはなくしてほしいと思う。 |
| 50代 | 女性 | 共働きのできる施設（保育所等）を多くしていくことが伊豆市の役目ではないでしょうか。今の市町では無理かも保育時間の長い保育所を多く作ってほしいです。 |
| 50代 | 女性 | 取組へ向けて今どんなことをしているのか、目で見てわかるような具体的なものが見たいです。（ポスターとか） |
| 50代 | 女性 | 男女平等とはそこから考えた方が良くと思います。平等とは同じという意味にとらえがちですが、もともと性質も何かも違うものが同じになるはずがありません。男女平等ではなく人間平等ととらえる方が正しいのでは…年齢、男女・障害者など…たとえば、子供、若者、大人、老人にケーキを同じ分量に分ける事は平等ではないと思います。食せる分だけ分ける、それが平等だと思います。男でも女でもできる人がやると思いますけど…ではなぜ、男女なのでしょうか、女男ではないのですか… |
| 50代 | 女性 | ストーカー等に対する相談する、場所があるといいと思う。警察は事件にならないと動かないし、近くでそういう問題があることを面倒に思うような対処しかしてくれない。その結果がテレビ等で取り上げられる殺人事件につながると思う。若者だけでなく、年配の人たちも色々、悩みを抱えていると思うので、老若男女みんなが集まって楽しく遊べるというのか集うことができるといいと思う。 |
| 50代 | 女性 | 私が参加したい、協力したいと思う。 |
| 50代 | 女性 | 男性だから女性だからと意識することなく社会の中で自己表現をしてつける社会になるといいと思います。ただ、子どもを出産することまた、老人介護などどうしても女性に過度の負担がかかる場合があり、社会制度や周囲の考えなど職業と両立させることが困難なことが多い様に感じています。 |
| 50代 | 女性 | とても良いプランだと思います。でも私たち年齢では、まだいやかなり性別意識は高くなかなか難しい問題ではありますが、でも、少しずつ少しずつの改善は必要だと思っています。これからの活動取り組み協力できたらと思います。 |
| 50代 | 男性 | 男女雇用機会均等法や共同参画は、人口が減少する中、労働力を確保する目的から重要である。但し、企業では女性が出産で長期間不在になることが戦力ダウンとなるため痛手となる。そのため、企業をある程度バックアップする制度なくして、平等は成り立たないと考える。 |
| 50代 | 男性 | 隠れた人材発掘登用に近い表現にしないと米国では裁判で負けますよ。「男女の区別なく」、「男女共同参画」という言葉がすでに問題を持っていることに気が付かない人材が担当している。これが根元です。担当の上司の知識、能力を見直し真剣に取り組むことが大事。高税率、徴兵制などとリンクしがちな福祉システムの充実に対するしっかりした行政側の信念が必要。 |
| 50代 | 男性 | 共同参画は進めるべきだと思うが、男女・女性の性別はあるので、それぞれ特性を活かしながら、女性の社会進出が望まれる。 |
| 50代 | 男性 | 市役所内部での活動とその分析・公表を通じた市民への啓発が必要。 |
| 50代 | 男性 | 昨今、女性が様々な分野に進出し活躍されていて、頼もしい事と思います。しかし、結婚し出産となると仕事を続ける事は大変困難になると思います。また、金銭的に余裕があれば仕事をする必要がないと思われる人もいると思います。つまり経済的に余裕がないので扶養の範囲内で働きに出る女性もいるということです。そのような状況の方に、平等に仕事に就きなさいと言っても無理だと思います。また、役場の職員さんや大手の企業で正規雇用されている方には手厚い保護（育児休暇・ボーナス等）があるのに、パート・アルバイトのような臨時雇用されている人には、多少のボーナスがあったとしても育児休暇のような制度はなく、1年で一旦雇用を切り改めて雇用するなど、法の網を潜るような雇用をして、正規雇用された者を優遇しているように見えます。現在、日本では少子化が問題となっており、子どもを産んだ場合の手当について、手厚く保護できる形を作って頂きたいと思います。企業、役所が正規職員や社員の育児休暇は撤廃しパートさん等にも公平に育児手当を交付するなどすべての人が平等に幸せになるようにした方がよろしいのでしょうか。最後に、女性の社会進出のためには扶養控除の限度額を上げ仕事をもっとできるようにするなど必要に思います。市民県民税も5%からA4の紙1枚掲示板に貼って10%に上げ、消費税も上がり、私も含め皆さん我慢しながら税金払ってる訳です。このような出す方がわかっている内容のアンケートを出す予算があるのなら別の事にお金を使ったらいかがでしょうか。 |

| | | |
|-------|----|---|
| 50代 | 男性 | 仕事上、米国に年に1ヶ月～2ヶ月の滞在をして男女間について感じる部分があります。日本も良いところもありますし、米国も良いところもあります。当然、両国も悪い習慣的な考えもあります。今、言えるのは適材適所にて男女問わず、仕事、育児などで行える地域、職場になる様に、その場所のリーダーが変えていくことが大切な事と思います。 |
| 50代 | 男性 | 田舎なので嫁が親をみるはあたりまえの雰囲気。子育てが終わり、フルで働きたくても、どうしても介護は嫁が担当！最近介護認定も厳しくなり家でみていく方向になっている。働きたくても足かせになり働けない状態です。 |
| 60代 | 女性 | 地域的には建設的な考え方が根強く女性が表に出ていくことが少ないと思いますが、実際女性がすべてに於いて男性をフォローし且つ自身の仕事もすべて行っているのが現状だと考えます。男性に向けた仕事内容、女性ならではのきめ細かい仕事を適性にあった参画が望ましいと思います。 |
| 60代 | 女性 | 世間一般では必ずしも男女が同じ立場にいるとは言い辛い中で女性が男性と同じように働くのは大変だと思います。特に家事や育児については女性に負担がかかっていると思うし、子供にとって母親は特別な存在だと思います。まずは、男性の意識改革が第一の関門です。家事を自分の仕事と意識する男性が増えた時、初めて男女共同参画の議論が対等に話し合われるようになると思います。 |
| 60代 | 女性 | 私の家は3世帯で住んでいます。主人は50年続けてきた店を閉じることが出来ずに一人店を開いています。私は息子夫婦が共働きで一日中家にいませんから、その間、一切の家事を引き受けて働いています。(子供の教育とか息子たちの生活には一切、主人も私も口を出さないようにしています) |
| 60代 | 女性 | 私は60代半ばの年齢です。日本の男性の意識の問題だと思います。女性の方々は素晴らしい能力を持っています。底辺の力を継続している女性たちの力こそ、これから必要とされることでしょう。問題は男性です。残念です。 |
| 60代 | 女性 | 今パートをして20年勤務しています。60才になって、まだ、10年は勤務したいと思うのですが、難しいと思います。会社側は若い人材を求めているからです。男、女共、70歳まで雇用して頂けたらと思います。介護について、年金が低い方用に安いサービスや宿泊施設を望みます。 |
| 60代 | 女性 | 男女の平等は望みますが、それぞれの違いに対する理解、思いやり、協力の教育が大事だと思います。「平等だから同じことができる」ではないと思います。 |
| 60代 | 男性 | 結局は社会を構成する個々人の意識の変革をどのように行っていくかということだと思う。法的な整備も当然必要だが、社会の現状や個々人の意識は方が規定する水準に追いついていけないのが、現在の日本の状況。この距離感を埋めるためには、家庭・教育現場等を通して「人権」「平等」意識の教育を継続していくしかないと思う。 ※この場合の「意識」とは具体的には育児休暇をとっている当人が申し訳ないと感じ、周囲が迷惑だと感じている等の意識を目指す。 |
| 60代 | 男性 | まずは女性が参画できるような条件作りが必要。積極的に登用して女性にもできることをアピールすると同時にリーダーとしての責任感も養成する。参画する為の環境づくり(活動する時間帯への配慮、男性の協力や、施設・サービスの整備等)をできることから着実に長い目で見て実施する。 |
| 60代 | 男性 | 何をしたくても、地域の活性がなければ何でもない。学校などが、なくなり限界集落になるのであれば、その社会どころではない。 |
| 60代 | 男性 | 男性の育児休暇が話題になっているが、そのみならず親の介護休暇もまた必要に思われる。男性も女性もその特質を活かした活動が望まれるが、保育所はあっても保育士の数が少なく子供を預けられないと聞く。介護士、保育士、看護師の育成に力を入れるべきではないか。 |
| 60代 | 男性 | 女性は家庭を守るのが第一と思う。未婚女性と既婚女性で考え方が違うから何とも言えない。 |
| 70歳以上 | 女性 | 女性自身が大きな目、心でもっと学ばなければと思います。これは私自身がそう思うのであって他の人たちは一生懸命世間にもかって色々な事に挑戦しているのかもしれない。やはり頑張らなくてはと思います。他人に頼ったり他人のせいにしたらず、せめて自分で考え自分が決めて小さな物事でも進めていけるよう努力したいです。 |
| 70歳以上 | 女性 | 男性も女性もよく話し合うことが大切です。小さなことで毎日会話が大切です。 |
| 70歳以上 | 女性 | 伊豆市は働く場が少ないと思います。男女がもっと働く場を市として考える必要があると思います。 |
| 70歳以上 | 男性 | 計画は理解できるが年代によっては、同居または、実家の親の介護のために心配なので、今一番この社会の難しい事も感じます。 |
| 70歳以上 | 男性 | 何を云うかより何をするのか。各年代層の意見を聞き取り入れる。意欲のある人を集める。 |
| 70歳以上 | 男性 | まず、家庭では女性のコミュニティへの出番が多くすることを意識する。地域では、役職等でも女性が担当するようにする。現実には各地区において区長、会計等は男性が担当と決まっているが、現実には人材不足で困っている。女性の登用を期待する。会計などは女性の方が能力もあり几帳面である。このような所から男女共同参画は第一歩と考えてみました。 |

*** 伊豆市男女共同参画意識調査 ***

調査協力についてのお願い

市民の皆様には、日頃より市政にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、伊豆市では、年々多様化する社会環境の中で男女が互いにその人権を尊重し、対等に責任を持ってあらゆる分野に参画し、その個性と能力を十分に発揮することができる社会の実現に向けて「伊豆市男女共同参画プラン」を策定し、さまざまな取組みを行っています。

この調査は、20歳以上の市民の皆様の中から、無作為に1,000人を選ばせていただき、男女共同参画に関する意識や実態、ニーズをお伺いし、プランの見直しや今後の施策の推進のための基礎資料にしたいと存じます。

お答えいただきました内容は、調査の目的以外に使用することはありません。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成28年1月

伊豆市役所 総合戦略課

記入上の注意

- ◆ご面倒ですが、ご記入は**必ず封筒あて名のご本人**にお願いいたします。
- ◆回答はすべて無記名です。
- ◆自分の考えや、それに近いものにあてはまる番号に○をつけてください。
- ◆その他を選んだときは（ ）内に具体的内容を記入してください。
- ◆調査票は同封の返信用封筒に入れ、**1月25日（月）まで**にご投函ください。

<この調査についてのお問い合わせ先>

〒410-2413 静岡県伊豆市小立野 38-2

伊豆市 総合政策部 総合戦略課

TEL : 0558-74-3066 FAX:0558-72-6588

はじめに

はじめに、あなたご自身のことについてお聞きします。それぞれの項目ごとに、該当する番号に○をつけてください。

| | |
|--------------------------|--|
| ①性別 | 1. 男性 2. 女性 |
| ②年齢 | 1. 20～29歳 2. 30～39歳 3. 40～49歳 4. 50～59歳 5. 60～69歳 6. 70歳以上 |
| ③家族構成 | 1. ひとり暮らし 2. 夫婦のみ 3. 二世帯同居（親と子） 4. 三世帯同居（親・子・孫） 5. 母子世帯 6. 父子世帯 7. その他（ ） |
| ④子ども | 1. いる 2. いない |
| ⑤結婚 | 1. 未婚 2. 既婚（夫婦同居、婚姻の届け出をしていないものを含む） 3. 既婚（夫婦別居、単身赴任を含む） 4. 離別または死別 |
| ⑥夫婦の働き方 | ⑤で結婚しているを選んだ方のみ回答してください。 1. 共働き（共にフルタイム） 2. 共働き（いずれかがパート・アルバイト） 3. 共働き（共にパート・アルバイト） 4. 夫（男性）のみ就業 5. 妻（女性）のみ就業 6. どちらも働いていない |
| ⑦職業 （兼業の方は主 な方を選択） | 1. 自営業（農林漁業、家族従事者を含む） 2. 自営業（商工サービス業・自由業等、家族従事者を含む） 3. 常勤の勤め人（企業・商店、工場、団体等、役員を含む） 4. 常勤の勤め人（官公庁、公共企業体） 5. パートタイム・アルバイト（内職含む） 6. 無職（主婦・主夫・学生・年金生活者・その他の無職） |

1. 男女平等に関する意識について

問1 あなたは、次のような分野で男女は平等になっているとお考えになりますか。

(○はそれぞれ1つずつ)

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
|-----------------|--------------|-------------------|----|-------------------|--------------|-------|
| | 優遇 男性が非常に | どちらかといえば 男性が優遇 | 平等 | どちらかといえば 女性が優遇 | 優遇 女性が非常に | わからない |
| ①家庭生活 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| ②職場 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| ③学校教育の場 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| ④地域（自治会、PTA等） | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| ⑤政治の場 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| ⑥法律や制度の上 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| ⑦社会通念・慣習・しきたりなど | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |

問2 あなたは、次のことがらを知っていますか。(○はそれぞれ1つずつ)

| | 1 | 2 | 3 |
|------------------------------|-------|----------|------|
| | 知っている | 聞いたことがある | 知らない |
| ①男女共同参画社会基本法 | 1 | 2 | 3 |
| ②伊豆市男女共同参画プラン | 1 | 2 | 3 |
| ③男女雇用機会均等法 | 1 | 2 | 3 |
| ④女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（H27） | 1 | 2 | 3 |
| ⑤ジェンダー | 1 | 2 | 3 |
| ⑥ワーク・ライフ・バランス | 1 | 2 | 3 |

2. 男女共同参画に関する教育・学習について

問3 あなたは、人権の尊重、男女平等を推進する教育をどこで行うべきだとお考えになりますか。(○は1つ)

1. 家族による家庭教育の場において行う
2. 幼稚園、小学校、中学校、高等学校などの学校教育の場において行う
3. 職場などの社内教育の場において行う
4. 公民館や地域活動などの社会教育の場において行う
5. その他 ()
6. わからない

3. 政策方針決定過程への女性の参画について

問4 あなたは、政策決定の場に女性が参画することについて、どのように考えますか。(○は1つ)

1. 男性を上回るほど増える方がよい
2. 男女半々になるくらいまで増える方がよい
3. 男女半々まではいかなくても、今より増える方がよい
4. 今のままでよい
5. その他 ()
6. わからない

問5 政策の企画や方針決定の場に女性の参画が少ない理由は、何だとお考えになりますか。(○はいくつでも)

1. 家庭、職場、地域における*性別役割分担、性差別の意識
2. 男性優位の組織運営
3. 女性が参画するための家族の支援・協力が得られない
4. 女性の能力開発の機会が不十分
5. 女性の積極性が十分でない
6. 女性の参画を積極的に進めようと意識している人が少ない
7. その他 ()
8. わからない

*性別役割分担意識…「男は仕事、女は家事・育児」、「男はたくましく積極的、女はやさしく控えめ」、「男が代表、女は補助」というように性別によって固定的に役割を分担する考えのこと。

4. 家庭のことについて

問6 現在、配偶者（事実婚を含む）のいらっしゃる方におたずねします。【配偶者のいらっしゃらない方は問7へお進みください。】あなたのご家庭では、次のような家庭の役割を、主にどなたが担っていますか。（○はそれぞれ1つずつ）

| | 1 主に妻 | 2 主に妻だが、夫も分担 | 3 夫と妻が同程度 | 4 主に夫だが、妻も分担 | 5 主に夫 | 6 その他 | 7 同居の子どもや親がいない |
|-----------------------|----------|-----------------|--------------|-----------------|----------|----------|-------------------|
| ①家計を支える(生活費を稼ぐ) | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | |
| ②掃除、洗濯、食事のしたくなどの家事をする | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | |
| ③ゴミ出しなどの簡単な家事をする | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | |
| ④日々の家計の管理をする | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | |
| ⑤育児、子どものしつけをする | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| ⑥親の世話（介護）をする | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| ⑦自治会・町内会などの地域活動を行う | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | |
| ⑧子どもの教育方針や進学目標を決める | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| ⑨高額の商品や土地・家屋の購入を決める | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | |

5. 働き方・就業環境について

問7 一般的に女性が職業を持つことに対して、あなたはどのようにお考えになりますか。

(○は1つ)

1. 女性は職業を持たないほうがよい
2. 結婚するまでは、職業を持つほうがよい
3. 子どもができるまでは職業を持つほうがよい
4. 子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業を持つほうがよい
5. ずっと職業を続けるほうがよい
6. その他 ()
7. わからない

問8 問7で2～5を選択した方に伺います。【問7で1・6・7を選択した方は問

9へお進みください。】女性が働く上での障害は何だとお考えになりますか。(○

はいくつでも)

1. 結婚・出産退職等の慣行
2. 賃金の男女格差
3. 昇進、昇格における男女の格差
4. 仕事内容における男女の格差
5. 長時間労働や残業
6. 雇用形態にパートタイムや臨時雇いが多いこと
7. 育児・介護施設の不足
8. 育児・介護休暇の取得しにくい環境
9. 職場における人間関係
10. 家族の反対、又は協力が得られないこと
11. 女性自身の知識や技術の不足
12. 女性自身の就業意欲が低いこと
13. その他 ()
14. 特になし
15. わからない

問9 子どもがいる方にお聞きします。【子どもがいない方は問10へお進みくださ

い。】あなたは育児休暇を取りましたか。(○は1つ)

1. とった

2. 取らなかった →

★2と答えた方にお聞きします。取らなかった理由は何ですか？(○は1つ)

1. 配偶者(パートナー)が取ったから
2. 休暇が取りにくい職場の雰囲気だったから
3. 勤務先では育児休業の制度がなかったから
4. 必要がなかったから(親に見てもらおうなど)
5. 休業すると、その間収入が減るから
6. 復帰後、昇給(昇格)への不安や、仕事についていけるかなどの不安があったから
7. その他 ()

問 10 男性が育児休暇や介護休暇を取ることに、あなたはどのようにお考えになりますか。(○はそれぞれ1つずつ)

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|-------|--------------|------------------|-------------------|-----------|-------|
| | 積極的に取ったほうがよい | どちらかといえば取ったほうがよい | どちらかといえば取らないほうがよい | 取らないほうがよい | わからない |
| ①育児休暇 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ②介護休暇 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

6. ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について

問 11 仕事と家庭生活等について、あなたが望ましいと思うのはどれですか。また、あなた自身の実際の生活はいかがですか。(○はそれぞれ一つずつ)

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|-------------|----------|-------------------------|---------------------|----------------------|-------------|
| | 仕事を中心にする | 家庭生活等にも携わるが、あくまで仕事を優先する | 家庭生活等と仕事を同じように両立させる | 仕事には携わるが、家庭生活等を優先させる | 家庭生活等を中心にする |
| ①望ましい男性のあり方 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ②望ましい女性のあり方 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ③あなたの実際の生活 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

問 12 男女がともに仕事と家庭を両立していくためには、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。(○はいくつでも)

| | |
|----------------------------------|--------------------------|
| 1. 就業労働時間の短縮 | 2. 柔軟な勤務制度の導入（在宅勤務、フレック） |
| 3. 育児・介護施設の充実 | 4. 育児・介護休暇の取りやすい環境の整備 |
| 5. 家族や周囲の理解と協力 | 6. 育児・介護休業中の経済的支援 |
| 7. 仕事や家事・育児・介護のスキルアップ講座の参加や学習の機会 | |
| 8. その他（ | ） |
| 9. わからない | |

7. 地域について

問 13 あなたは、地域活動において女性が自治会の長などの役職につくことが少ない理由はなんだと思いますか。(○は3つまで)

1. 女性自身が役職につくのに消極的だから
2. 家族の理解や協力が得られないから
3. 男性が主・女性が補助など性別によって役割を固定する考えや慣行があるから
4. 女性は身体的能力が男性より劣っているから
5. 活動時間帯が女性に合っていないから
6. 女性は指導的な資質に欠けるから
7. 世間一般から快く思われないから
8. その他 ()
9. わからない

問 14 地域活動や地域の方針決定の場へ男女がともに参加するために、どのようなことが効果的だと思いますか。(○は3つまで)

1. 地域で開催する男女共同参画についての意識啓発・研修
2. 自治会や自主防災会などの役員を男女両方が担う
3. 役割を固定しない活動や訓練などの実施
4. 男女共同参画を推進している地域についての広報や表彰
5. リーダー養成や学習の機会の充実
6. 発言の機会の確保や意見が反映される組織づくり
7. その他 ()
8. わからない

8. 人権について

問 15 あなたはこれまでに、セクシュアル・ハラスメント（セクハラ・性的嫌がらせ）について経験したり見聞きしたことがありますか。（○は1つ）

1. セクシュアル・ハラスメントを受けたことがある

★ 1 と答えた方にお聞きします。セクシャル・ハラスメントを受けたとき、あなたはどうしましたか。（○はいくつでも）

1. 相手に直接抗議した
2. 家族や身近な人、友人に相談した
3. 職場の上司、同僚、担当者に相談した
4. 公的な機関（市や県、警察、人権擁護委員など）に相談した
5. 民間の専門家や機関（弁護士・カウンセラーなど）に相談した
6. 誰（どこ）にも相談しなかった
7. その他()

2. 身近にセクシュアル・ハラスメントを受けた人がいる

3. セクシュアル・ハラスメントを受けた人から相談されたことがある

4. 身近にはいないが、そうした話を聞いたことがある

5. テレビや新聞などで問題になっていることを知っている

6. 経験したり見聞きしたことはない

7. その他 ()

問 16 あなたはこれまでに、夫や妻・パートナーからの暴力(ドメスティック・バイオレンス)について、経験したり見聞きしたことがありますか。（○は1つ）

1. 暴力を受けたことがある

★ 1 と答えた方にお聞きします。暴力を受けたとき、あなたはどうしましたか。（○はいくつでも）

1. 相手に直接抗議した
2. 家族や身近な人、友人に相談した
3. 公的な機関（市や県、警察、人権擁護委員など）に相談した
4. 民間の専門家や機関（弁護士・カウンセラーなど）に相談した
5. 誰（どこ）にも相談しなかった
6. その他()

2. 身近に暴力を受けた人がいる

3. 暴力を受けた人から相談されたことがある

4. 身近にはいないが、そうした話を聞いたことがある

5. テレビや新聞などで問題になっていることを知っている

6. 経験したり見聞きしたことはない

7. その他 ()

9. 男女共同参画社会実現に向けた取り組みについて

問 17 男女共同参画社会の実現のために、今後、行政はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(○は5つまで)

1. 男女平等、男女の相互理解・協力についての啓発、教育、学習の充実
2. 男女共同参画に関する法律や制度の周知徹底
3. 政策や方針決定過程への女性の積極的登用
4. 女性の雇用促進と、女性の職業訓練の充実
5. 女性の学習の場の充実、女性のリーダーの養成
6. 男性が家事・育児・介護に参画するための支援、学習の場の充実
7. 仕事と家庭の両立に向けた啓発
8. 経営者、事業主を対象に職場における男女の均等な取り扱いの周知徹底
9. 高齢者を対象とした各種施設・サービスの整備
10. 保育所、放課後児童クラブ（学童保育）などの施設・サービスの整備
11. ドメスティック・バイオレンスなどをなくすための施策の充実
12. 男女共同参画に関する国際的情勢の周知と協調・貢献
13. その他（)
14. 特にない
15. わからない

★男女共同参画について、ご意見・ご要望をお聞かせください。

| |
|--|
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |

*** 調査にご協力いただき、ありがとうございました ***